ユーザーガイド

X1D

X1D ユーザーガイド　2018-06-12　Version v1.41

HASSELBLAD

CREATE TO INSPIRE

Content

1 はじめに 7
1.1 X1Dカメラ ファームウェアの更新 8
1.2 X1Dの特長 8
X1Dカメラおよびレンズの特長 8
1.3 本体および付属品の確認 9
1.4 X1D 製品仕様 10
1.5 システム要件 11
1.6 ユーザーガイド1.4版 追加機能 11
1.7 本ユーザーガイドについて 11
インタラクティブPDF 11
検索ツール 11
X1Dユーザーガイドのフォーマットおよび印刷 11

2 安全にお使いいただくために 12
2.1 警告 13
2.2 注意 13
2.3 廃棄処分について 14
2.4 FCC 15
2.5 ISED 15
2.6 認証情報 15

3 機 能 16
3.1 X1D インタラクション ディスプレイ 17
3.2 タッチディスプレイ操作 18
タッチディスプレイでの拡大・縮小 19
3.3 メニューを操作する 20
タッチディスプレイのメニュー項目の説明 20
メニューの概要とタッチディスプレイの設定 21
3.4 タッチディスプレイ メインメニュー 22
メインメニュー 22
お気に入りの設定をメインメニューに追加 22
お気に入りの設定をメインメニューに追加する方法 23
お気に入りの設定をメインメニューから削除する方法 23
コントロールスクリーン 24
コントロールスクリーンの撮影モード 24
コントロールスクリーンの各設定 25
3.5 各部品・ボタンと操作 28

3.6 グリップボタンと操作 31
3.7 カメラ本体のボタンと操作 32
3.8 モードダイヤル 33
3.9 撮影モード 34
撮影モード: マニュアル 35
撮影モード: マニュアルクイック 36
M_Qモードの特長 36
撮影モード: オート 37
カスタムモード 38
カスタムモードの設定方法 38
AE-L ボタン 39
露出補正の固定設定 40
露出補正・クイックアジャスト 41
3.10 撮影測光モード 42
3.11 動画撮影 43
動画を録画する 43
録画された動画の見方 44
3.12 各種接続ポート 45
3.13 メモリーカード 46
メモリーカードの挿入 47
SDカードの取りはずし 48
SDカードのフォーマット 49
タッチディスプレイでのフォーマット操作 49
3.14 XCDレンズ 50
Hasselblad XCD 3,5/30mm レンズ 50
Hasselblad XCD 3,5/45mm レンズ 50
Hasselblad XCD 3,2/90mm レンズ 50
3.15 レンズの取りはずしと取りつけ方 51
レンズの取りはずし方 51
レンズの取りつけ方 52
レンズキャップのはずし方 53
レンズキャップの取りつけ方 53
レンズシェードの取りはずし方 54
レンズシェードの取りつけ方 54
フィルター 55
3.16 ディスプレイ情報 56
3.17 タッチディスプレイとコントロール 57
3.18 EVF 電子ビューファインダーの表示 58
EVF 電子ビューファインダーのディスプレイ 58
電子ビューファインダー表示の設定 59

カメラのライブビュー 60
ライブビュー時のズーム 61
ライブビュー時のフォーカス 61
HDMIで接続した外づけモニターでのライブビュー 62
3.19 フォーカス 63
フォーカス補助 63
マニュアルフォーカス 64
オートフォーカスモードにおけるマニュアルオーバーライド 64
AFオートフォーカス・MFマニュアルフォーカスの設定 64
オートフォーカス 65
シングルショット フォーカス（単写フォーカス） 66
フォーカスピーキング 67
3.20 AFポイントの移動 68
3.21 絞り込みボタン 69
絞り込み / 被写界深度プレビュー 69
3.22 グリップ部分での設定変更 70
グリップ部分でシャッターと絞りを調整する方法 71
ISOとホワイトバランス 72
3.23 プレビューとヒストグラム 73
撮影した画像を見る 73
プレビューを見るためにカードを選択する 73
スタンダード プレビュー 74
9画面サムネイルモード 74
ヒストグラムの種類 75
ヒストグラム モード 75
撮影詳細モード 75
ヒストグラム表示の変更方法 75
Luminance Histogram Mode 輝度値ヒストグラム 75
セパレート ヒストグラム RGB モード 75
ヒストグラム　露出モード 76
3.24 GPS モジュール 77
外づけGPS モジュールの取りつけ方法 77
GPS アイコンのステータス 78
GPS仕様詳細 78
3.25 Phocus の概要 79
3.26 Phocus 80
Phocusの特長 80
3.27 コンピューターに接続する 81
PHOCUSとハッセルブラッドの撮影画像ファイル 82
3.28 バッテリー 83
バッテリーチャージャー 84

バッテリーの充電 84
リチャージブルバッテリーの仕様 85
バッテリー寿命と諸注意 86
3.29 温度警告 86
3.30 カメラの保管 86

4 設 定 87
4.1 カメラ設定メニュー 88
4.2 カメラの露出設定 88
露出変更 89
トゥルーエクスポージャー(露出) 90
フラッシュ設定 92
フラッシュとストロボ設定 93
露出ロック 94
AE-L (AEロック) / クイックアジャスト 95
撮影向き 96
4.3 画質設定 97
4.4 カメラのフォーカス設定 98
4.5 カメラのセルフタイマー設定 99
4.6 カメラ設定 100
4.7 動画設定メニュー 101
動画設定 101
4.8 一般設定メニュー 102
4.9 一般設定:Wi-Fi 102
4.10 一般設定:ディスプレイ 103
露出シミュレーション 103
4.11 一般設定:カスタムモード 104
4.12 一般設定:ストレージ 105
カードのフォーマット方法 105
画像、動画の保存場所 106
4.13 一般設定:日付と時間 107
4.14 一般設定:電源オフ&タイムアウト 108
4.15 一般設定:水準器 109
水準器のキャリブレーション 110
4.16 一般設定:言語 111
4.17 一般設定:サービス 112
4.18 X1Dカメラファームウェアの更新 113
X1Dファームウェアの更新方法 113

4.19 XCDレンズ ファームウェアの更新 114
レンズファームウェアの更新方法 114
4.20 一般設定：ログデータの保存 115
4.21 一般設定：初期設定 116
4.22 一般設定：デモモード 118
4.23 一般設定：情報 119
4.24 一般設定：情報 認証 120

5 アクセサリー 121
5.1 XCDレンズシリーズ 122
XCD 30 mm レンズ 122
XCD 45 mm レンズ 122
XCD 90 mm レンズ 122
XH レンズアダプター 123
5.2 HCレンズアクセサリーのオプション 123
エクステンションチューブ H 13、H 26、H 52 123
マクロコンバーター H 123
コンバーター H 1.7x 123
5.3 アクセサリーオプション 124
プロシェード V/H 60 – 95 124
プロシェードアダプター 124
X1D XCD レンズのフィルター径 125
UV スカイフィルター 125
ポラフィルター 125
X1D カメラショルダーストラップ 125

6 トラブルシューティング 126
6.1 エラーメッセージ 128
6.2 不明な言語からの変更 129
6.3 レンズのクリーニング 130
ホコリの除去 130
6.4 センサーフィルターの清掃 131
6.5 ハッセルブラッドX1Dユーザーガイドについての情報 132
3D 製品画像 132
トレードマーク 132
Copyright 132

HASSELBLAD
H
Ø67mm
3.2/90

1.1 X1D カメラ ファームウェアの更新

X1D のカメラシステムは、改善と新しい機能を更新することができます。
お客さまの新しい X1D カメラを使いはじめる前にハッセルブラッドのウェブサイト www.hasselblad.com/jp に行き、最新の X1D カメラのファームウェアをダウンロードして最新の機能を使えるようカメラシステムを更新しましょう。
詳しい方法は、本ユーザーガイドの「X1D カメラのファームウェアをダウンロードして X1D カメラを更新する」の詳細ページをご確認ください。

1.2 X1D の特長

中判の利点
浅い被写界深度
卓越した画像解像度のための大きなセンサー
驚くほど滑らかな色調のレンダリング
拡大したときの息をのむほど美しいクオリティ

ハッセルブラッド ナチュラル カラー ソリューション -HNCS
HNCS は、肌の色や製品などの被写体の色調を、自動的に正確にレンダリングすることで、短時間でクオリティの高い色を再現します。

JPEG & RAW ファイル
JPEG ファイルは、HNC プロファイルのためフォルダーから直接、驚きの品質で印刷することができます。もちろん、最高傑作を作成するための RAW ファイルでの記録もできます。

デジタルレンズ補正
デジタルレンズ補正は、ファイル編集のときに、色収差、歪み、周辺光量落ちなど、それがどんなレンズにも見られるわずかな程度の差異であっても認識し、自動的に解決します。

ハッセルブラッド画像処理ソフトウェア Phocus
ハッセルブラッドのデジタル画像ソフトウェア Phocus は、撮影した画像の処理やハッセルブラッドの 3F ファイルを扱うことができるファイル管理のアプリケーションです。Wi-Fi を介して Phocus Mobile から遠隔で画像を確認したりコントロールすることができます。iPhone 用、iPad 用の Phocus Mobile は、ともに、Apple の App Store にて無料でダウンロードすることができます。

XCD 30mm　XCD 45mm　XCD 90mm

X1Dカメラおよびレンズの特長

カメラ本体：
ステンレス / アルミニウム
12 本の H システムレンズの使用が可能

XCD システムレンズおよびアクセサリー：
XCD 30 mm レンズ
XCD 45 mm レンズ
XCD 90 mm レンズ

H システムレンズおよびアクセサリー：
X システム用
H システムレンズアダプター

レンズ：
24、28、35、50、80、
100、150、210、300
120 マクロレンズ、50-110 および 35-90 ズームレンズ
1.7x コンバーターおよびマクロコンバーター

フラッシュ：
Nikon フラッシュ製品群は TTL モードでご利用いただけます。
詳しくはフラッシュのページをご覧ください。

1.3 本体および付属品の確認

本体および付属品の確認

1 すべての製品を開封します。

2 付属の付属品一覧に記載されている製品がすべてそろっているか確認してください。

3 瑕疵などがないことをご確認ください。

4 万が一、製品の不備、瑕疵などがありましたら、製品番号を控えてください。製品に不備、瑕疵などがないことを確認できましたら手順6にお進みください。

5 お買い上げいただきました販売店に、不備、瑕疵などがありました製品の製品番号をお知らせください。

6 ご購入時のレシート等の明細書と保証書は大切に保管してください。

箱の中身を確認する

- USB メモリー（X1D ユーザーガイド、Phocus ソフトウェア）
- カメラ本体
- フロント保護カバー
- レンズ（購入に含まれる場合）
- レンズフード
- レンズキャップ x 2
- レンズポーチ

- バッテリー
- バッテリーチャージャー

- SD カード x 1
- USB3.0 ケーブル
- ストラップ

1.4 X1D 製品仕様

カメラタイプ	ミラーレス 大型センサー 中判デジタルカメラ
構造	アルミ削り出し
センサータイプ	CMOS、5000 万画素 (6200 × 8272 ピクセル、5.3 × 5.3 µm)
センサーサイズ	32.9 × 43.8 mm
画像サイズ	静止画 : RAW 3FR 撮影 106MB 平均 (TIFF 8 bit 154MB) 動画 : HD (1920 x 1080p、最大5分 / クリップ)
ファイルフォーマット	静止画 : ハッセルブラッド 3FR、1/4 サイズ JPEG、動画 : H.264 圧縮 (25 fps)
撮影モード	シングルショット静止画、動画
階調	16 bit、約 14 ストップ ダイナミックレンジ
ISO 感度	ISO 100、200、400、800、1600、3200、6400、12800、25600
保存形式	SD カード (デュアルスロット) 、またはテザー撮影による Mac、Windows 保存
カラーマネジメント	ハッセルブラッド ナチュラルカラー ソリューション (HNCS)
保存容量	16GB カードの場合 平均 120 枚
キャプチャーレート	1.7 枚 / 秒（MQ モード時 2.0 枚）
ユーザーインターフェース	タッチ機能：あり、フルサポート（スワイプ、スクロール、ピンチ機能含む）ボタン、ホイールを含むカメラグリップ操作
ディスプレイ	3 インチ TFT タイプ、24 bit カラー、920,000 ピクセル
ライブビュー	カメラ、ホスト、iOS デバイスにて高フレームレート
ビューファインダー（EVF）	2.4MP 電子ビューファインダー
ヒストグラムフィードバック	対応（背面ディスプレイ）
IR フィルター	センサー前にマウント
画像処理ソフトウェア	Mac/Windows 対応 Phocus、Adobe® Photoshop® Lightroom®
プラットフォームサポート	Mac: OS X 10.10　Windows: 7、8、10（64 ビットのみ）
ホスト接続タイプ	USB 3.0 (5G bit/s) Type-C コネクタ
その他接続	ミニ HDMI、音声入力 / 出力
動作温度	-10 ～ 45 ˚C
Wi-Fi	802.11 a, b, g, n (地域による)
寸法	カメラ本体 +45mm レンズ：148 x 97 x 125 mm (W x H x D)
重量	カメラ本体+ 45mm レンズ：1170 g (バッテリー+カード含む)
レンズ	レンズシャッターのハッセルブラッド XCD レンズライン、XH アダプターを使用した HC および HCD レンズライン
シャッター	レンンズシャッター
シャッタースピード範囲	XCD レンズ :1/2000 秒～ 60 分、HCD レンズにて 1/800 秒または 1/2000 秒～（レンズに依存）
ストロボ同調速度	全速同調
フラッシュコントロール	自動 TTL 中央補正システム、Nikon™ フラッシュとの互換性、ISO 100-6400 範囲、出力調整 -3.0 ～ +3.0 EV
フラッシュ互換性	TTL モードにて Nikon™ フラッシュ SB-300, 500, 700, 900, 910 が使用可能
フォーカシング	コントラスト検出式メータを通したオートフォーカス、インスタントマニュアルフォーカスオーバーライド
露出計測	スポット (EV2-21)、中央部重点 (EV1-21)、中央スポット (EV1-21)
電源供給	リチャージャブルリチュームイオンバッテリー (7.2 VDC/3200 mAh)
GPS 外部モジュール	72 チャネル u-blox M8 エンジンサポート GPS

1.5　システム要件

画像の保存や編集には、コンピュータの性能に関して一定の要件が必要になります。大きな画像は、十分なメモリー、高度なグラフィックス機能、最新のオペレーティングシステムを持つ高性能なコンピュータを必要とします。

カメラから画像を速く読み取るために USB3.0 コネクターを備えたコンピュータを推奨します。USB SD カードリーダーは SD カードからの画像の転送に使用できます。

1.6　ユーザーガイド 1.4 版 追加機能

- GPS 外づけモジュール
- フォーカスピーキング
- オート ISO 最大・最小設定
- X システム用 H レンズアダプター
- 動画再生 ポスターフレーム
- マニュアルフォーカスアシスト時のズームレベル 50% または 100% の選択
- ディスプレイメニュー：M 時、A/S/P/ フルオート時の個別露出シミュレーションオン・オフ設定
- 情報メニュー：「使用量」にてレンズのシャッター回数を表示

1.7　本ユーザーガイドについて

X1D ユーザーガイドは、画面上で PDF を読み込むように設計されていますので、双方向性機能や検索ツールを活用できます。

インタラクティブPDF

目次のチャプターを選択することでユーザーガイド内を検索できます。この双方向性機能はほぼすべての PDF リーダー、コンピュータプラットフォーム、ウェブブラウザーで利用できます。

検索ツール

ほとんどの PDF リーダーで、特定のテーマ、機能、設定を探すのに検索ツールが使えます。

X1D ユーザーガイドのフォーマットおよび印刷

A4 サイズのフォーマットが基準となります。印刷をするときは、ページ設定で印刷可能範囲が合うように設定してください。

写真クレジット
11, 19, 74, 81, 82 ページ : Ian Lawson
Page 74, 80 ページ : Dmitry Ageev

HASSELBLAD

2.1 警告

警告
つまずきなどの原因となりますので、カメラとコンピュータの間にケーブルを設置しないようにしてください。けがをしたり機器の破損を引き起こしたりするおそれがあります。

警告
予備のバッテリーパックをお使いになるときは、端子部分に保護キャップを付けてください。接触する部分を保護しない場合、ショートや発火する可能性があり、けがをしたり機器の破損を引き起こしたりするおそれがあります。

警告
バッテリー（バッテリーパックおよび取り付けた状態のバッテリー）を、直射日光や火気のそばなどの過度に温度が高くなるところに置かないでください。発火を起こし、けがや、機器の破損や周囲汚損の原因になることがあります。

警告
ストロボやフラッシュユニット等をお使いになるときは、けがをしたり機器を破損したりしないよう注意してください。

警告
住宅地域でこの機器を使用すると、電波障害が発生する可能性があります。

2.2 注意

注意
カメラは精密機器のため、取り扱いには十分注意をしてください。

注意
バッテリーが正しく交換されない場合、破裂の危険性があります。同じかまたは同等のタイプのもの以外はご使用にならないでください。

注意
指定以外のバッテリーをお使いにならないでください。バッテリーの損傷の原因となります。

注意
機器には、なるべく保護カバーをお使いください。機器の損傷を防ぐのに役立ちます。

注意
機器を持ち運ぶときは、保護用ケースまたはカメラバッグをお使いください。機器の損傷を防ぐのに役立ちます。

注意
油煙、湯気、湿気やほこりから機器を保護してください。これらの環境は、機器の損傷の原因となります。

注意
乾燥したところや寒い環境から、湿気の多いところに機器を持ち込むときは、すべての機器をビニール袋などで密封してください。機器が温度の変化に慣れるまで待ってから、袋から機器を取り出してください。これにより、機器の損傷を防ぐのに役立ちます。

注意
高頻度の温度変化や高い温度変化をさけてください。機器の損傷の原因となります。

注意
湿気からカメラ本体や機器を避けるようにしてください。もし、カメラがぬれた場合は、電源をはずし、よく乾かしてからお使いください。ぬれた状態でのご使用は機器の損傷の原因となります。

注意
乾いた環境で機器を保管してください。機器の損傷を防ぐのに役立ちます。

注意
カメラに部品を取り付けるとき、または、カメラから部品を取りはずすときは十分注意をしてください。データバスの接続の損傷を防ぐのに役立ちます。

注意
カメラを持ち上げたり操作したりするときは、グリップまたはストラップを使用してください。機器の損傷を防ぐのに役立ちます。

注意
カメラ本体内部を触わらないようにしてください。機器の損傷の原因となります。

注意
レンズ表面を触らないようにしてください。機器の損傷の原因となります。

注意
CMOS センサーを触らないようにしてください。機器の損傷の原因となります。

注意
すべての機器は、小さなお子さまの手に届かないところに置いてください。

注意
カメラをクリーニングする場合は、バッテリーをはずしてください。機器の損傷を防ぐのに役立ちます。

注意
カメラを長期間ご使用にならない場合は、バッテリーをはずしてください。機器の損傷を防ぐのに役立ちます。

注意
ほこりなどが気になった場合でも、CMOS センサー前面の IR フィルターをはずさないようにしてください。機器の損傷の原因となります。ハッセルブラッドのサービスセンターにご連絡ください。

注意
缶に入った圧縮空気を IR フィルターのクリーニングに使用する場合は、ご使用前に説明書をよくお読みになってください。フィルターの損傷を防ぐのに役立ちます。

2.3 廃棄処分について

本製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口で正しい廃棄方法をお問い合わせください。

2.4 FCC

Federal Communication Commission Interference Statement:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.

This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC Caution
Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate this equipment.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

1 This device may not cause harmful interference, and
2 This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

FCC Radiation Exposure Statement:
This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. The highest SAR value as reported to the authorities for the X1D-50c when tested for use by the Body is 0.10 W/kg and Extremity is 0.33W/kg against a limit of 1.6W/kg.

2.5 ISED

RSS-Gen Information for the Certification of Radio Apparatus
This device complies with ISED licence-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions:

1 This device may not cause interference, and
2 this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Cet appareil est conforme au(x) standard(s) RSS exempt(s) de licence de ISED. Son fonctionnement est sujet aux deux conditions suivantes:

1 cet appareil ne doit pas occasionner d'interférence
2 cet appareil doit supporter toutes les interférences, y compris celles qui pourraient provoquer un mauvais fonctionnement de cet appareil.

RSS-102 RF Exposure Compliance of Radiocommunication

Apparatus
The X1D-50c has been designed to comply with safety requirements for exposure to radio waves. SAR testing has been performed in accordance with RSS-102, with the X1D-50c transmitting at its highest certified power level in all used frequency bands. The highest Body SAR value for the X1D-50c when tested was 0.10 W/kg against a limit of 1.6 W/kg. Extremity SAR was measured to 0.33 W/kg.
Please follow the instructions included in the user guide for product installation and use.

Le X1D-50c a été conçu pour se conformer aux exigences de sécurité en matière d'exposition aux ondes radio.
Des tests SAR ont été effectués conformément à la RSS-102 avec le X1D-50c transmettant à son plus haut niveau de puissance certifié dans toutes les bandes de fréquences utilisées.

La valeur SAR la plus élevée pour la X1D-50c lors des tests était de 0,10 W/Kg contre une limite de 1.6 W/kg. On a mesuré l'extrémité SAR à 0,33 W/kg.
Merci de suivre les instructions fournies dans le mode d'emploi pour l'installation et l'utilisation du produit.

2.6 認証情報

カメラ下部に表示された情報に加えて地域ごとの情報がEラベルにご確認いただけます。
メインメニュー > 一般設定 > 情報 > 認証

HASSELBLAD
H
Ø 67mm
3.2/90

3.1　X1D インタラクション ディスプレイ

EVF 電子ビューファインダーディスプレイ

EVF は ISO 感度、ピント合わせ、露出補正、絞り、シャッター、保存に関して表示します。MF/AF ボタン、ISO/WB ボタンを押すことで設定を変えることができます。フロントスクロールホイールまたは、リアスクロールホイールで好みの設定を選べます。もう一度、同じボタンを押すことで、終了および保存ができます。

タッチディスプレイ

X1D のディスプレイはタッチセンサー式で、スワイプ、セレクト、ピンチインまたはピンチアウトでズームなど、スマートフォンのような操作で使用できます。また、タッチディスプレイの右側の5つのソフトボタンやカメラのスクロールホイールによる操作もできます。

3.2　タッチディスプレイ操作

X1D のタッチディスプレイは、タッチセンサー式のスマートフォンやタブレットのように、次の動作でカメラを操作できます。

動作	機能
右にスワイプ	戻す / 画像を右に動かす
左にスワイプ	画像を左に動かす＊ブラウズモード時のみ
下にスワイプ	コントロールスクリーンを表示
上にスワイプ	コントロールスクリーンを隠す
タップ / 押す	選択 / ボタン / 設定
ダブルタップ	100% に拡大表示、再度ダブルタップで全体表示に縮小

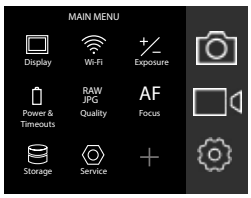
機能	動作
選択	タップ /1 本の指で押す
コントロールスクリーンを表示	スクリーンの上から下へスワイプ
コントロールスクリーンを隠す	上にスワイプ
戻る	右にスワイプ
拡大 (ズームイン)	ピンチアウト (2 本の指を遠ざけていく)
縮小 (ズームアウト)	ピンチイン (2 本の指をつまむように近づけていく)

右にスワイプ

左にスワイプ

下にスワイプ

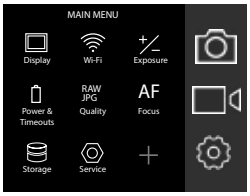
上にスワイプ



メインメニューからコントロールスクリーンを表示する

1. メインメニュー画面を下にスワイプするとコントロールスクリーンを表示します。
2. コントロールスクリーンがカメラ設定を表示します。
3. コントロールスクリーンはインタラクティブに機能し、設定を選び素早く調整できます。
4. 上方向にスワイプするとコントロールスクリーンが隠れメインメニューを表示します。

1 下にスワイプ



メインメニュー

2

コントロールスクリーン

3 調整設定

コントロールスクリーン

4 上にスワイプ

メインメニュー

ご注意！

コントロールスクリーンのほとんどの設定は変更することができます。変更できる設定は撮影モードに依存します。

タッチディスプレイでの拡大・縮小

X1D のタッチディスプレイは、タッチセンサー式のスマートフォンやタブレットのように、つぎの動作でカメラを操作できます。

機能	動作
拡大（ズームイン）	ひろげる（2 本の指を遠ざけていく）
縮小（ズームアウト）	つまむ（2 本の指を近づけていく）

動作	機能
ダブルタップ	100% に拡大表示、再度ダブルタップで全体表示に縮小

ズームビュー

標準プレビュー

9 枚 ビューモード

9 枚 ビューモードは 9 枚まで画像を表示します。スクロールダウンしてフォルダー内のすべての画像を表示していきます。

タッチディスプレイの右に位置する星のマークがついた選択ボタンを押すと 9 枚ビューモードに入ることができます。または、2 本の指で縮小（ズームアウト）「つまみ」ます。

9枚ビューモード

3.3　メニューを操作する

タッチディスプレイのメニュー項目の説明

X1D のディスプレイスクリーンはタッチセンサー式で、指 1 本でクリックして選択したり、それぞれの方向にスワイプして上下、前後に動かしたりすることができます。

ボタン	スクリーン機能
1　プレビューボタン	画像の閲覧
2　表示切り替えボタン	上げる
3　選択ボタン	選択
4　画像削除ボタン	下げる
5　メニュー（終了）ボタン	メインメニューに戻る

1. プレビューボタン
最新の画像から表示します。画像のレビュー、閲覧、ズームができます。画像をプレビューし、プレビュー画像のピントを確認するために拡大したり、一度に複数表示するために縮小したり、最終的に、フォルダーやメディアを表示し選択できます。

2. 表示切り替えボタン
スクリーンに表示されている情報によって機能が異なります。プレビューモード時に、画像の削除ボタンとしても使えます。また、ライブビューモード時に表示を切り替えます。

3. 選択ボタン
プレビューモードで 1 画像表示と 9 画像表示の切り替えボタンとして機能します。また、ライブビューモード時に 50%または 100% 表示に切り替えます。

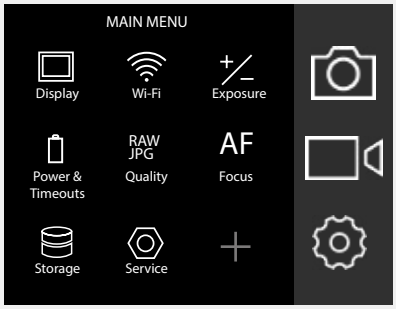
4. 画像削除ボタン
スクリーンに表示されている情報によって機能が異なります。

5. メニュー /（終了）ボタン
このボタンでメインメニューを開きます。また、終了ボタンなど、メニューシステムを操作する際のほかの機能にも使われます。

タッチディスプレイ上のボタンやグリップ上のスクロールホイールを使うことによって、多彩にメニューを操作できます。次に、設定のオプションをご紹介します。

コントロールスクリーン

メインメニュー



メニューの概要とタッチディスプレイの設定

タッチディスプレイはタッチセンサー式スクリーンのメニューやアイコンを押すことで直接操作ができます。前章でご紹介したように、上下にスクロールしたり、左から右あに動かしたりすることができます。また、つぎにご紹介するボタンおよびスクロールホイールでスクリーン上のメニューを操作することができます。

1. メニュー / 終了ボタンなどのコントロールボタン
2. フロントスクロールホイール
3. シャッターレリーズボタン
4. モードダイヤル
5. リアスクロールホイール

メニューボタン(1)でメインメニューに戻ります。

タッチディスプレイのメインメニュー

ディスプレイの右側には、カメラ設定、動画設定、一般設定の 3 つのメイン機能の設定があります。そのほか、お気に入りの設定のショートカットがあります。このショートカットは追加または削除することができ、メインメニューからよく使う機能に直接アクセスすることを可能にするのでたいへん便利です。

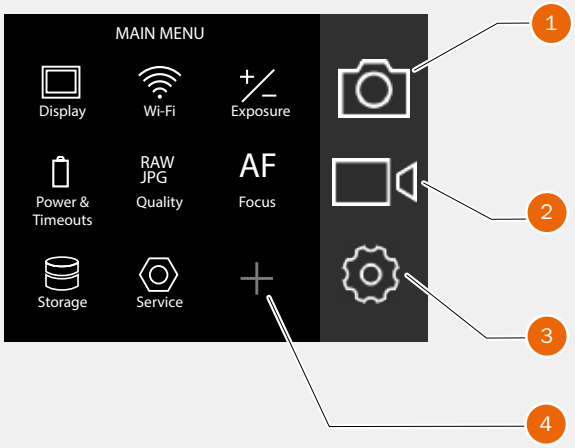
3.4　タッチディスプレイ メインメニュー

メインメニュー

メインメニューには 3 つの設定があります。カメラ設定（1）、動画設定（2）、一般設定（3）。この 3 つの設定の配置は固定されていて変更はできません。
メインメニューの左側にはつぎのお気に入りの機能の短縮設定のアイコンがあります。

- ディスプレイ
- Wi-Fi
- 露出（+/-）
- 電源オフ&タイムアウト
- クオリティ（RAW/JPG）
- フォーカス（AF）
- ストレージ
- サービス

メインメニュー



1　カメラ設定
2　動画設定
3　一般設定
4　+ (プラス) シンボル（設定追加）

お気に入りの設定をメインメニューに追加

独自のワークフローで能率良く作業をすすめるために、頻繁に使う設定をお気に入りの設定に追加することができます。独自の機能を追加するには、メインメニューの「+」のアイコン（4）を選択します。そして一覧から新しい機能を選択します。この機能は、削除、または、ほかの機能に変更するまでメインメニューに表示されます。

追加可能な機能：

- 露出
- クオリティ
- フォーカス
- セルフタイマー
- 設定
- 動画クオリティ
- Wi-Fi
- ディスプレイ
- カスタムモード
- ストレージ
- 日付と時刻
- 電源オフ&タイムアウト
- 水準器
- 言語
- サービス
- 情報

お気に入り一覧に機能を追加または削除する方法の詳しい説明はつぎのページをご覧ください。

お気に入りの設定をメインメニューに追加する方法

1 メインメニューの「+」のアイコン（A）を選択します。

2 追加可能なお気に入りの設定の一覧が表示されます。

3 ここでは、例として「セルフタイマー」を選択します。（B）

4 その「セルフタイマー」アイコンがメインメニューに表示され、カメラにこの設定が保存されます。

メインメニュー

お気に入りの設定をメインメニューから削除する方法

1 メインメニューから削除したいお気に入りの設定のアイコンを長押しします。ここでは、例として「セルフタイマー」を選択。（C）

2 選択した機能のそばに、新しいアイコンが表示されます。（D）

3 オレンジの円で囲んだ X を押すと、アイコンとその機能がメインメニューのお気に入りから削除されます。

4 これで「セルフタイマー」アイコンは、メインメニューのお気に入り一覧に表示されません。またこの機能はいつでも戻すことができます。

お好きな機能を追加

セルフタイマーがメインメニューに追加

リンクを削除

コントロールスクリーン

コントロールスクリーンから最も一般的な設定にアクセスすることができます。この設定は、機能をタップすることで簡単に変更することができ、直接調整ができます。

コントロールスクリーンを表示

タッチディスプレイを上から下にスワイプすることでいつでもコントロールスクリーンを表示することができます。

コントロールスクリーンを閉じる

タッチディスプレイの下部から上にスワイプします。

注意！

コントロールスクリーンが表示されているときは測光ができません。センサーが非アクティブとなり電力がセーブされます。

コントロールスクリーンの撮影モード

Pモード

Pモードを選択すると、自動で露出（f5.6）とシャッタースピード（1/125）がグレーに表示され、この設定は変更できないことを意味します。

Aモード

絞り優先（A）では、絞り値を変えることができます。シャッタースピードは自動的にグレーで表示されます。

Sモード

シャッター優先（S）では、シャッタースピードを変えることができます。絞り値は自動的にグレーで表示されます。

コントロール
スクリーン

コントロール
スクリーン

Pモード時

コントロール
スクリーン

Aモード時

コントロール
スクリーン

Sモード時

コントロールスクリーンの各設定

ホワイトバランス
- オートホワイトバランス AWB
- 曇天
- 日陰
- 昼光
- タングステン
- 蛍光灯
- フラッシュ
- マニュアル WB

フォーカス
- MF　　マニュアルフォーカス
- AF-S　　オートフォーカス シングル

ISO
- ISO値を選択します。

絞り
- 絞り値を選択します。

この章はつぎのページにつづきます。

ホワイトバランス

フォーカス

ISO

絞り

コントロールスクリーンの各設定

シャッター
- シャッタースピードを選択

露出補正
- (+)または左(-)にスライドさせてフラッシュの光量を調整
- 右(+)または左(-)にスライドさせて露出を調整

撮影モード

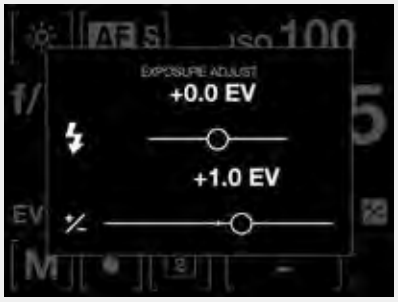
M	マニュアル
M_Q	マニュアルクイック
A	絞り優先
S	シャッタースピード優先
P	プログラム
C1	カスタムプログラム1
C2	カスタムプログラム2
C3	カスタムプログラム3
動画	動画
□	オート(ISO感度も自動的に設定されます)

測光モード
- 中央部重点測光
- スポット測光
- センタースポット測光

この章はつぎのページにつづきます。

シャッター

露出補正



撮影モード

測光モード

コントロールスクリーンの各設定

ドライブモード
- 単写(シングル)モード
- 連写モード

ドライブモード

シングルドライブモードが選択されている。

撮影残数
- 保存できる残り枚数を表示

撮影残数

256枚

メモリーカード
- 1は1番のSDカード、2は2番のSDカード

メモリーカード

1 - SD 1 カード

2 - SD 2 カード

3.5　各部品・ボタンと操作

以下の各部品については、他のセクションで詳しく説明しています。

1　モードダイヤル
2　シャッターレリーズボタン
3　フロントスクロールホイール
4　AF補助光LED
5　カメラグリップ
6　絞り込みボタン

1　AE-L ボタン
2　AF-D ボタン
3　リアスクロールホイール
4　プレビューボタン
5　表示切り替えボタン
6　選択ボタン
7　画像削除ボタン
8　メニューボタン

1　EVF 電子ビューファインダー
2　スピーカー
3　ストラップ取りつけ部
4　アイセンサー
5　タッチディスプレイ
6　ステータスLED

1　フラッシュホットシュー
2　視度調節ダイヤル
3　EVF 電子ビューファインダー
4　タッチディスプレイ
5　シャッターレリーズボタン
6　モードダイヤル
7　オン・オフボタン
8　ストラップ用取りつけ部

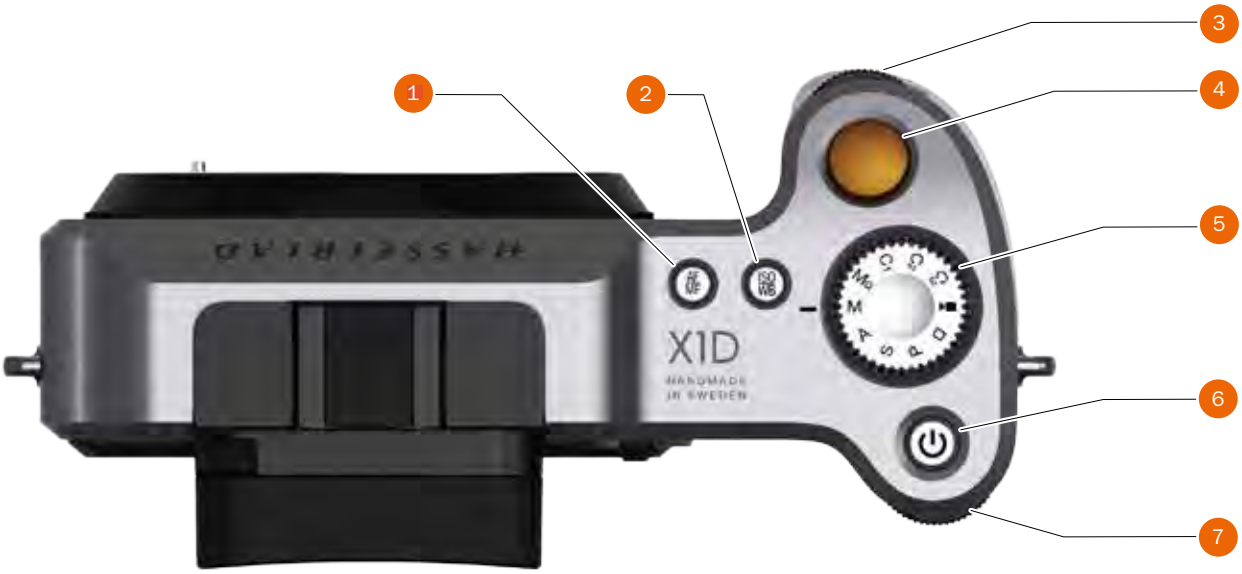
1　右マイク
2　左マイク
3　ストラップ用取りつけ部
4　撮像面マーク
5　SDカードスロットカバー
6　コネクタースロットカバー
7　レンズ取りはずしボタン

視度調節

1　視度調節ホイール
2　視度調節ホイールを回して、お好みの設定に調整します。

1　三脚ネジ穴 1/4
2　バッテリー取りはずしレバー
3　バッテリー

3.6　グリップボタンと操作



1　AF・MF ボタン
AF / MF ボタンはオートフォーカスとマニュアルフォーカスを切り替えます。

2　ISO・WB ボタン
このボタンには 2 つの機能があります。ISO 感度とホワイトバランスの設定に直接アクセスできます。1 回押すと ISO 感度を変更し、もう一度押すとホワイトバランスの設定を変更します。

3　フロントスクロールホイール
前面および背面スクロールホイールで、露出設定を変更します。また、ブラウズコントロールと同様にタッチディスプレイのメニューを操作します。

4　シャッターレリーズボタン
このボタンには 2 通りの押し方があります。半分まで（またはソフトに）押すとカメラの起動および、オートフォーカス機能、測光を起動します。下までしっかり押すと、シャッターが切れます。選択した露出の設定およびセルフタイマーもこのボタンで起動できます。

5　モードダイヤル
10 個のプログラムから選べます。M、Mo、A、S、P、フルオート、動画、C1、C2、C3 の 3 つのカスタムモードです。

6　オン・オフボタン
1 秒間押して、カメラを起動します。H のロゴが表示され次にメインスクリーンが表示されます。数秒後に（カスタマイズ可能）、カメラはディスプレイオフモードになります。ボタンを長押しすると、カメラの電源は完全に切れ（ディスプレイオフモード時も同様）、半押しするとタッチディスプレイのオン・オフが切り替わります。

7　リアスクロールホイール
スクロールホイールで露出の変更をします。また、ブラウズコントロールと同様にセンサーユニットのメニューを操作します。

注意！
いくつかのボタンには、設定したモードによって複数の機能があります。

3.7　カメラ本体のボタンと操作

1　AE-L ボタン

露出を固定します。また、モードによって、閲覧の際の縮小ボタンや、設定を変更したときの終了ボタンとしても機能します。

2　AF-D ボタン

AF ドライブボタン（AF-D）でオートフォーカスを作動します。ボタンを押すとオートフォーカスを始め、離すとオートフォーカス機能が止まります。オートフォーカスの過程によってビューファインダーの真ん中の四角の記号の色が変わります。

白　　ノーマルモード、オートフォーカスは被写体を分析していません。
緑　　オートフォーカスが実行され、ピントが正しく合っています。
赤　　オートフォーカスが失敗し、正しくピントが合っていません。

3　リアスクロールホイール

背面スクロールホイールは、選択している機能によって、それぞれの設定を操作します。

4　シャッターレリーズボタン

このボタンには 2 通りの押し方があります。半分まで（またはソフトに）押すとカメラの起動および、オートフォーカス機能、測光を起動します。下までしっかり押すと、シャッターが切れます。選択した露出の設定およびセルフタイマーもこのボタンで起動できます。

5　フロントスクロールホイール

前面スクロールホイールは、選択している機能によって、それぞれの設定を操作します。

6　絞り込みボタン

ボタンを押すと選択した絞り値での被写界深度をビューファインダースクリーンで確認できます。設定した絞りまで閉じ、押している間、閉じたままになります。同時に、絞り値を変更して変化をみることができます。

3.8　モードダイヤル

モードダイヤルの選択
モードダイヤルは使用中の撮影モードを表示します。モードダイヤルから 10 種類の撮影モードが選べます。(1)

カメラの撮影モード

MQ =	マニュアルクイック
M =	マニュアル
A =	絞り優先
S =	シャッタースピード優先
P =	プログラム
□ =	オート (ISO 感度の自動設定)
Video =	動画
C1 =	カスタムプログラム 1
C2 =	カスタムプログラム 2
C3 =	カスタムプログラム 3

モードダイヤルをロックする
モードダイヤルは押し下げることでロックできます。(2)

モード ダイヤルの ロックを解除 (上がる)

モードダイヤルのロックを解除する
ロックされているとき、もう一度押すとモードダイヤルのロックが解除されます。(3)

モード ダイヤルを ロック (下がる)

3.9　撮影モード

7 種類の固定された撮影モードと C1、C2、C3 の 3 つのカスタムプログラムがあります。撮影モードはモードダイヤル (1) を回して選択します。

撮影モード

M = マニュアル
MQ = マニュアルクイック
A = 絞り優先
S = シャッタースピード優先
P = プログラム
Video = 動画
□ = 自動 (ISO 感度とホワイトバランスの自動設定)
C1 = カスタムプログラム 1
C2 = カスタムプログラム 2
C3 = カスタムプログラム 3

マニュアルモードでは、絞りは前面スクロールホイール、シャッタースピードは背面スクロールホイールで設定します。

自動モードでは、設定によって一部または完全に、絞りおよびシャッタースピードをカメラが決めます。自動モードでは 4 種類の設定（A,S,P, フルオート）が選べます。

撮影モード : マニュアル

マニュアルモードではシャッタースピードと絞り値の設定を撮影者がすべて調整します。このモードでは、手動でシャッタースピードと絞り値の設定をフロントおよびリアスクロールホイールで調節します。

ビューファインダー内のディスプレイの露出補正 EV 値を中央指標に合わせると適正露出を得られます。

適正露出との差はつぎのように表示されます。

- ポインターが中央指標以外の位置に表示されます。
- 適正露出との差を表す数値が EV 値でスケールに表示されます。

ディスプレイのスケールの上に「+0.7」と表示されている場合は、「0.7 EV の露出オーバー」を表し、「-2」と表示されている場合は、「2EV の露出アンダー」を表しています。マニュアルモードでビューファインダーおよびディスプレイに +/- の符号が表示されているときは、露出補正が設定されていることを表しています。露出補正については後の章をご覧ください。

実際に設定された絞りとシャッタースピードは、露出スケールの右に表示されます。

注意！
設定によっては、「1段」、「1/2 段」、および「1/3 段」も表示されます。例えば、「1/2 段」を選んでいる場合は、f/8 と f/11 の中間の設定は f/9.5 として表示されます。

撮影モード

撮影モード : マニュアルクイック

MQ モードは素早く撮影するためのマニュアルモードです。このモードは X1D カメラを三脚に固定したときに最適に効果を発揮します。

1　はじめにフォーカスと構図をマニュアルモード (M) などほかのプログラムモードで設定しておきます。MQ モードはライブビューに対応していません。
2　X1D カメラを安定した三脚に固定します。
3　モードダイヤルの MQ モードを選択します。

MQ モードの特長

- MQ モードはライブビューを使用しないため電力をセーブします。
- MQ モードはシャッターがすでに閉じているため早く撮影ができます。
- MQ モードはよりシャッターの動きが少ないためさらに静かです。

注意！
ホワイトバランスモードの「自動」（AWB）では、正しいホワイトバランスを設定する前にライブビューを有効にする必要があります。 MQ モード（ライブビューオプションなし）で AWB を使用するには、MQ モードに変更する前に M モードでライブビューを開始します。

撮影モード: オート

撮影モードはモードダイヤルを回して変更します。

オート撮影は、シャッタースピードと絞りの設定を半自動で行う2つの方法と、全自動で行う2つの方法から選べます。

絞り優先 A
前面スクロールホイールを回して絞りを手動で選択すると、シャッタースピードをカメラが自動的に選択します。

シャッタースピード優先 S
前面スクロールホイールを回してシャッタースピードを手動で選択すると、絞りをカメラが自動的に選択します。

プログラム P
このモードでは、各種要件とアプリケーションに合わせてあらかじめ設定された適切な制限の範囲内で、絞りとシャッタースピードの組み合わせを、カメラが測定するEV 値（測定方法は撮影者の選択によります）に従って決定します。

フルオート ロ
このモードでは、カメラによって絞りとシャッターの組み合わせが設定されます。カメラはつねにAFモードにあり、調整はできません。ホワイトバランスが自動に設定され、測光方式が中央部重点測光に設定され、ドライブモードはシングルドライブモードに設定されます。

撮影モード
M、A、S、Pモード

注意！
自動モードではフロントスクロールホイールで測光EV値を変えずに絞りとシャッタースピードの組み合わせを選択し、リアスクロールホイールで露出補正を行います。露出補正はビューファインダーおよびディスプレイに+/- 符号で表示されます。

注意！
絞りとシャッタースピードの設定は、センサーユニットのアクセスランプが点滅している間でも変更できます。

注意！
カメラ設定では、クイック調整機能を設定して、つぎの露出（デフォルト）または今後のすべての露出を調整することができます。

カスタムモード

カスタムモード C1、C2、C3 は、お好みの設定を保存できる 3 つのモードです。

カスタムモードの設定方法

1　モードダイヤルの M、A、S または P を選択します。 右の図 A では M を選択しています。
2　プログラムの変更を行います。 希望する ISO, AF/MF や WB を設定します。
3　タッチディスプレイ右のメニューボタンを押し、メインメニューを表示させます。
4　一般設定を選択します。
5　カスタムモードを選択します。
6　C1、C2 または C3 の保存先を選択します。
7　保存する場合は保存を選択して退出し、保存しない場合はそのまま戻るを選択します。
8　これらの設定したものがカスタムモード C1 から簡単にアクセスできます。
9　モードダイヤルを回して C1 を選択します（図 B）。
10 ステップ 2 で設定したすべての細かい設定を使えるようになりました。

ステップ 1 から 10 を繰り返して 3 つの異なるカスタムモードを C1、C2、C3 に作ることができます。

AE-L ボタン

AE-L ボタン(1)には2つの機能が備わっており、露光ロックを使ってのさまざまな手法を可能にします。またフラッシュ測定の機能も備わっていますので、フラッシュの章のAE-L項目もご覧ください。

マニュアル及びオートモードにおけるEV設定のロック
このAE-Lボタンを押すことにより、露出メーターがロックされEV設定に変わります。ロックを意味する“L”の表示が、確認のためタッチディスプレーとビューファインダー上に表示されているシャッタースピードと絞り値の間に現れます。AE-Lボタンをもう一度押すとこの機能は解除されます（オン・オフ機能）。

ロックのシステムが働くと、絞りとシャッタースピードが連動するようになります。これによって同じEV値の組み合わせが素早く選べることになります。例えば、シャッタースピードが1/125秒で絞りがf/8の組み合わせでロックをかけたとします。これによってフロントスクロールホイールを回すだけで、1/30秒 でf/16もしくは1/500秒でf/4などの同じEV値となる組み合わせが選べます。

例えばオートモードのときに画面の中で中間のグレーであると思われる箇所（スポット測光）を選び、AE-Lボタンを使ってロックし、ロックしたEV値を使って別の もっと明るい場所や暗い場所で 画像を再構成することが可能になります。

露出補正の固定設定

1　コントロールスクリーンの上にある露出補正を選択します。

2　フロントスクロールホイール (B) を回して、フラッシュ補正レベルを変更します。また、グリップの上にあるリアスクロールホイールを回して、1/3 EV 刻みで露出補正のレベルを増減します。

3　ディスプレイには "+" または "-" が付いて表示されるか、もしくは "+" から "-" のスケール上にマーカー表示が出ます。

4　設定が保存されます。

露出補正・クイックアジャスト

マニュアル、オートのモードにかかわらず、露出補正は -5 から +5 EV の範囲で 1/3, 2/1, もしくは 1EV ごとの増減が可能であり、ビューファインダー上に位置するスケール並びにタッチスクリーン上の±で確認できます。

オートモードの時にクイック調整をしたい場合は、リアースクロールホイール (A) をご使用ください。

クイックアジャスト機能を使ったオート露出モード時の一時的な補正設定：

- リアースクロールホイール (A) を回し、補正レベルをお選びください。補正は EV 値と "+" の付いた表示か "-" から "+" までのスケール表示の両方が表示されます。

デフォルト設定は 1/3 EV 補正となっており、撮影後に設定がクリアされるようになっています。

コントロールスクリーンでの露出補正

1　タッチディスプレイをスワイプしてコントロールスクリーンにアクセスします。
2　露出補正を選択します (B)。
3　スライダーを左右に動かし補正値を決めます (C)。
4　画面の外側をタッチし露出補正ポップアップを閉じます。
5　上方向にスワイプしてコントロールスクリーンからメインメニューに戻ります。

コントロールスクリーンの画面
露出補正

3.10 撮影測光モード

測光モードはコントロールスクリーンで変更できます。それぞれの測光モードはリアスクロールホイールでお選びください。

測光モードの種類
3種類の反射光測定モードが選択できます。

中央部重点
センタースポット
スポット

測光モード

シンボル	測光モード
●	**中央部重点測光** 特に激しい明暗の差がない場合にお使いください。 ビューファインダー上の約25%の領域を測定します。
◎	**センタースポット測光** フォーカシングスクリーンの中央部約25%を測定します。このモードはバランスの取れた測定を可能にし、特に中心に人物が位置する様な画像に良く使われます。
●	**スポット測光** 測定範囲は画像の約2.5%（ビューファインダー上の中心点）になります。この点以外の場所は測定に影響を与えません。この事により、特定箇所のトーンを再現したい場合に同箇所の正確な測定を可能にします。ゾーンシステムには良く使われ、その他にも最大の光のコントロールが必要な場合にも使われます。階調の比較のための測定には有用です。スポットモードはEV値の代わりに'zones'を表示することができます。

3.11 動画撮影

動画を録画する

はじめに撮影モードの動画を選択します。

1　モードダイヤル (B) で動画を選択します。

2　タッチディスプレイに動画のコントロールスクリーンが表示されます。

3　ライブビュービデオ（LV）をタップして動画撮影を開始します。

4　動画がタッチディスプレイ上に表示されます。

5　シャッターリリースボタン (A) を押すかタッチディスプレイ上の赤い録画アイコンをタップして録画を開始します。録画中は録画アイコンはグレーです。

6　シャッターリリースボタン (A) を押すかタッチディスプレイのグレイー色のアイコンをタップして録画を終了します。

注意！
動画を撮影する際は X1D カメラを安定する三脚に据えると最高の動画結果がでます。

注意！
動画のクリップの長さは最大５分です。挿入しているSDカードの容量によって数本のクリップを保存することができます。

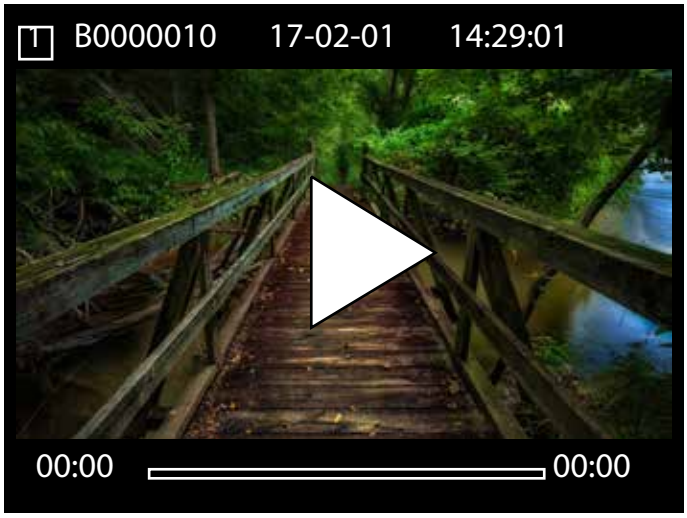
動画のコントロールスクリーン

撮影しているときの動画の表示

録画された動画の見方

1　プレビューボタン A を押します。
2　録画された動画がポスターフレーム（画像のプレビュー）とプレーアイコンがいっしょに表示されます。
3　見たい動画を選択します。
4　タッチディスプレイのプレーアイコン(白い三角のマーク）を押して選択した動画を見ます。
5　ボタン B を押して動画の再生を停止します。

撮影された動画の再生



3.12 各種接続ポート

1　SD1 カードスロット
SD カード No.1 用のスロット

2　SD2 カードスロット
SD カード No.2 用のスロット

3　HDMI
ミニ HDMI プラグ用コネクタ

4　音声入力
マイクロフォン 3.5 mm ステレオプラグ用コネクタ

5　USB 3.0 テザープラグ
USB 3.0 プラグ用コネクタ

6　音声出力
外部 3.5 mm ステレオ Audio Out プラグ用コネクタ

3.13 メモリーカード

X1D にご使用になれるメモリーカードは SD カードのみとなります。

X1D はスロット No1 とスロット No2 の 2 つの SD カードスロットを備えています。

SD カードを使用される場合、X1D はそのまま単独で撮影可能で、USB などのワイヤーやコネクターを接続する必要はありません。

推奨の SD カードのタイプは UDMA/ タイプ 4/60MBs (400x) もしくはそれ以上です。

X1D には 16GB SDXC の SD カードが同梱されており、(条件によって異なりますが) 75 ～ 150 枚の画像を記録できます。

注意！
同梱品の SD カードなどカードをはじめて使用する際は、カメラにてフォーマットをかけてください。

SD カードの表示

1：黒い表示	= 挿入されていません 書き込み不可状態 (3)
2：オレンジ表示	= 挿入されています 書き込み可能状態 (4)
1 または 2：[0]	= 満
1 または 2：！	= カードエラー
鍵マーク	= 書き込み防止入

メモリーカードの挿入

SD カードを挿入

1　メモリーカードスロットカバーをカメラの後ろ方向にスライドさせてから時計周りに開きます。

2　カードスロットカバーが開いている状態で SD カードをスロット No 1 (A) またはスロット No 2 (B) に挿入してください。

3　スロットカバーを反時計回りに回転させて閉じてからカメラの正面方向 (C) に押してロックさせます。

SD カードの取りはずし

注意！
タッチディスプレーの右下に位置しているランプが点滅をしている場合は準備中ですので、メモリーカードをカメラから取り出さないでください。この状態で取り出しますと、カード上のファイルにダメージを与えデータを失う可能性があり、カード自体を再フォーマットしなくてはなりません。

SD カードを抜く

1. センサーユニット上のメモリースロットカバー (A) を開けます。
2. No 1 (B) または No 2 (C) に入っている SD カードを軽く押し込んでから手を離すと SD カードの頭がスロットからで出ます。
3. カードをつかみセンサーユニットから取り出します。
4. メモリースロットカバー (D) を閉じてカメラの正面方向に押してロックさせます。

SD カードのフォーマット

メインメニュー > 一般設定 > ストレージ > フォーマット

カメラは正しくフォーマットされた保存メディアを使ってはじめて読み取りや書き込みができます。新しいカードはフォーマットがされてないことがあります。またすでにお使いのカードをお持ちで、このカメラでは読めないフォーマットが設定されている場合、フォーマットする必要があります。いずれの場合もこのカメラでご使用になるためには、X1D カメラに SD カードを挿入し再フォーマットをしなくてはなりません。

タッチディスプレイでのフォーマット操作

メインメニュー > 一般設定 > ストレージ > フォーマット

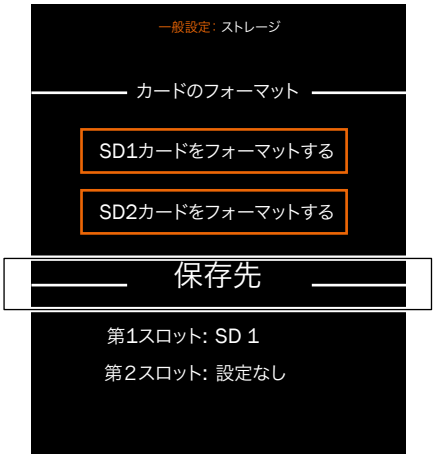
リアスクロールホイールもしくはタッチディスプレイとその右側に位置する5つのボタンを使って行います。

1. メニューボタンをタップする
2. ストレージを選択
3. カードのフォーマットを選択
4. フォーマットする SD カードを選択
5. フォーマットの画面でフォーマットを表示切り替えボタン (A) をを押して選択

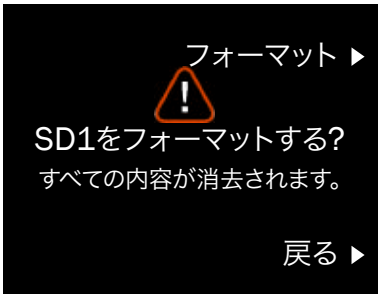
注意！
X1D カメラは毎秒 80MB のデータを SD カードに書き込むことができます。

注意！
はじめてご使用になる SD カードは X1D カメラでフォーマットが必要です。

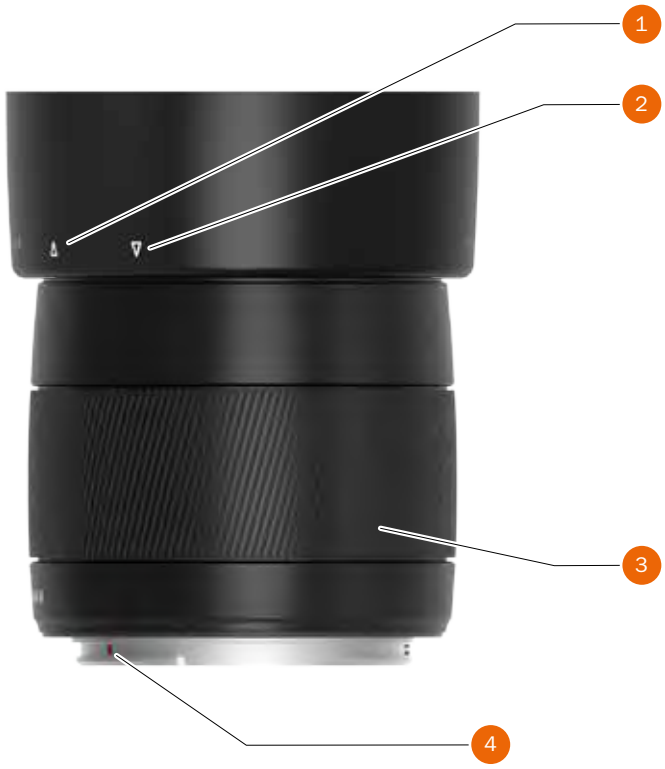
ストレージメニュー



フォーマットの画面



3.14 XCDレンズ



1　マウント取りはずし用レンズシェードインデックス
2　レンズシェードインデックス
3　フォーカシングリング
4　レンズインデックス

HASSELBLAD XCD 3,5/30MM レンズ

XCD 30 mmはXCDレンズの中で最も広角なレンズです。その焦点距離は 35 mm 換算で 24 mm と同等の視野を提供し、風景、ルポルタージュ、旅行などに完璧なレンズです。

71度の水平画角視野を提供するこのレンズは、コンパクト設計でかつ非常に高い性能を誇ります。至近距離での撮影時にもその驚くべき性能を保ちます。

HASSELBLAD XCD 3,5/45MM レンズ

XCD 45 mmはX1Dの理想的な標準レンズです。適度な広角の焦点距離で、35mmと同等の視野を提供する旅行など適した汎用レンズです。

Xシステムのレンズシリーズとして、軽量かつコンパクトなサイズは、コンパクトなX1Dのボディを補完します。

HASSELBLAD XCD 3,2/90MM レンズ

XCD 90 mmはX1Dの理想的なポートレートレンズです。中程度の望遠焦点距離で、71mmと同等の視野を提供する完璧なポートレートレンズです。

Xシステムのレンズシリーズとして、軽量かつコンパクトなサイズは、コンパクトなX1Dのボディを補完します。絞りをより開放に近づけることで 、焦点距離は美しくなめらかなボケ味となり、視野の小さな対象物を際立たせることができます。

テクニカルデータシートはハッセルブラッドのウェブサイトよりダウンロードできます。www.hasselblad.com/jp

3.15 レンズの取りはずしと取りつけ方

レンズの取りはずし方

注意！
データバス接点に対するダメージ防止のため、カメラに接続するコンポーネントの取りつけ、取りはずしにはご注意ください。

注意！
機材にダメージを与える可能性がありますので、カメラ本体に指を入れないでください。

レンズ (C) を片方の手で持ちカメラ本体 (A) をもう一方の手でしっかり持ちます。

1　レンズ (C) を片手で持ち、もう一方の手でカメラ本体 (A) を持ちます。
2　レンズ脱着ボタン (B) を押します。
3　レンズを反時計周りに回します。
4　レンズ (C) をカメラから離します。
5　保護カバー (D) をカメラ本体に取りつけます。
6　レンズキャップを取りはずしたレンズに取りつけます。
7　レンズを保管する場合は、レンズキャップを装着するとともにレンズフードは正面向きではなく反対向きに装着してください。

レンズの取りつけ方

注意！
データバス接点に対するダメージ防止のため、カメラに接続するコンポーネントの取りつけ、取りはずしにはご注意ください。

注意！
機材にダメージを与える可能性がありますので、カメラボディに指を入れないでください。

1　レンズ脱着ボタン (A) を押し、保護カバー (B) をカメラから取りはずします。

2　レンズを回してレンズ上の赤いマーク (C) とカメラボディ上の赤いマーク (D) とを合わせます。

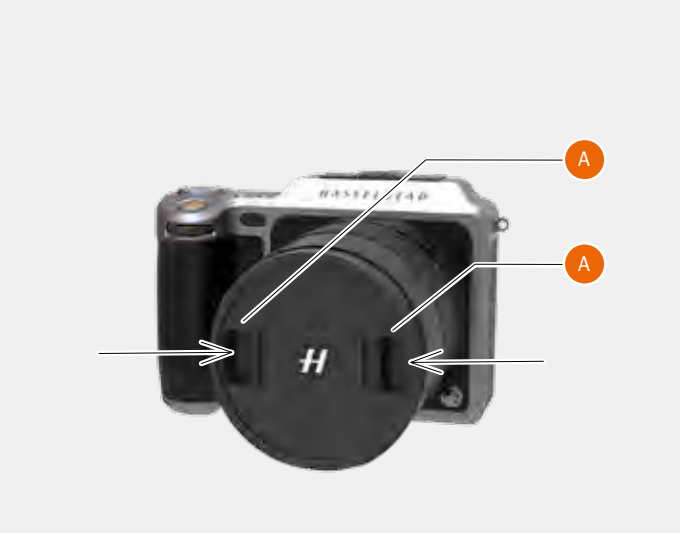
3　レンズ (E) をカメラボディ (F) に当てはめロックするまで時計周りに回します。

4　カメラの移動やご使用の前に、レンズがカメラボディにロックされていることを確認ください。

レンズキャップのはずし方

1　親指と人指し指をレンズキャップの溝(A)に入れます。

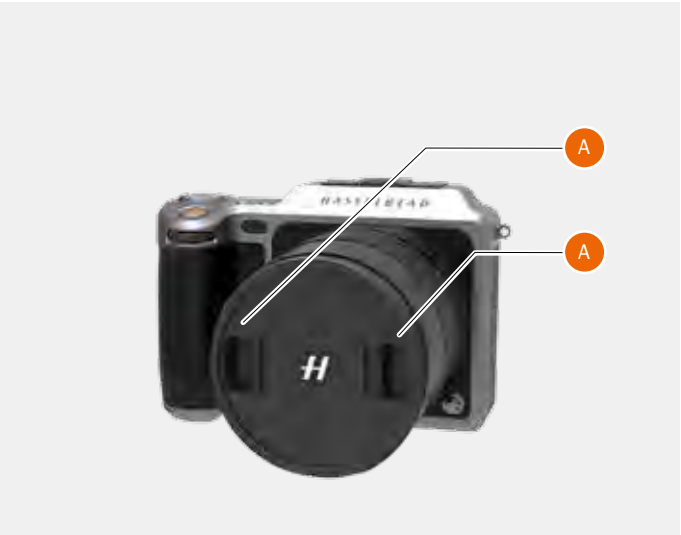
2　溝の間のつまみ(A)を掴んで引き出します。



レンズキャップの取りつけ方

1　親指と人指し指をレンズキャップの溝(A)に入れます。

2　フロントレンズキャップをレンズに合わせカチッと音がする位置に合わせ指を離します。



レンズシェードの取りはずし方

すべてのレンズにはレンズシェードが付属しており、レンズを保護するように反対向きに装着することで運搬時や保管時レンズの保護になります。

1　レンズシェード(A)を反時計周りに回してください。
2　レンズシェード(A)を取りはずします。

レンズシェードの取りつけ方

すべてのレンズにはレンズシェードが付属しており、レンズを保護するように反対向きに装着することで運搬時や保管時レンズの保護になります。

1　レンズにレンズシェードをかぶせます。
2　レンズシェード上の印(A)とフロントレンズ上の印(B)が合うように被せます。
3　レンズシェードを時計周りにカチッと音がするまで回してください。

フィルター

XCD 45 mm と XCD 90 mm は 67 mm 径のフィルター、XCD 30 mm は 77 mm 径のフィルターを使用します。ネジ状に回転させて合わせる構造で、時計回りにして合わせます。

Hasselblad XCD 30 レンズ用
77 mm フィルター

Hasselblad XCD 45 レンズ用
67 mm フィルター

Hasselblad XCD 90 レンズ用
67 mm フィルター

3.16 ディスプレイ情報

ビューファインダー情報

ISO (100)
バッテリー残量
露出補正 EV値
絞り設定(f/11)
シャッタースピード (1/125)
撮影枚数残 (621)

PHOCUS / PHOCUS MOBILE 情報

測光方法
絞り設定
シャッタースピード
撮影方法
ISO
ホワイトバランス
フラッシュ表示
フォーカス
ドライブ
EV

タッチディスプレイ 情報
コントロールスクリーン

露出 (昼光)
ISO (100)
絞り(f/5.6)
シャッタースピード (1/125)
EV (12.0)
露出補正(+1.0)
撮影モード、絞り優先 (A)
フォーカス設定 (センタースポット)
フォーカス方法 (シングル)
撮影残数
保存メディア (SD2)

3.17 タッチディスプレイとコントロール

X1D のタッチディスプレイは、撮影時にすぐ確認したい項目を表示することができます。タッチディスプレイと合わせて、フロントスクロールホイール、リアスクロールホイール、カメラボタンはメインメニューの設定を変更するのに使います。

タッチディスプレイは、SD カード 1 と 2 に保存したすべての画像を表示することができ、ブラウズやズームして細かいディテールを確認することができます。

撮影中にモードを選んで現在のプレビューとともに見たい情報の量をコントロールすることができます。

ボタンとスクロールホイール

ブラウザモードでは、スクロールホイールと AE-L ボタンを使います。ブラウザモードを立ち上げるには、タッチスクリーンディスプレイ右一番上のボタンを一度押します。これでメインメニューがタッチスクリーンディスプレイ上に表示されます。下にスワイプすることで、コントロールスクリーンを表示することができます。

コントロールスクリーンと設定と情報

コントロールスクリーンは相互作用があります。タッチディスプレイを上から下にスワイプするとコントロールスクリーンが現れます。設定を選び、値を変更することができます。絞り、シャッタースピード、フォーカス設定、ドライブ、EV、バッテリー残量、露出方法、撮影残量、ISO やホワイトバランスは常に表示され、タッチディスプレイ上のコントロールスクリーンで変更することができます。タッチディスプレイを下から上にスワイプすることでコントロールスクリーンを閉じ、メインメニューに移ります。

3.18 EVF 電子ビューファインダーの表示

EVF 電子ビューファインダーのディスプレイ

EVF 電子ビューファインダー

EVF 電子ビューファインダーのディスプレイ

電子ビューファインダー表示の設定

オートフォーカス AF インジケータ
四角いオートフォーカスのインジケータは、オートフォーカスがされている場合もそうでない場合も、電子ビューファインダーの中央に表示されます。オートフォーカスはシャッターリリースボタンを半押しするか AF ドライブボタン (AF-D) を押すと開始されます。

黒 - ノーマルモード。オートフォーカスが対象物を捉えていません。
白 - オートフォーカスが対象物を捉えようとしています。
緑 - オートフォーカス機能が正しく設定されています。
赤 - オートフォーカス機能が正しく設定されていません。

ISO インジケータ
設定された ISO が表示されます (ISO 100)。

バッテリーインジケータ
バッテリー残量が表示されます。

露出補正設定
EV 補正の設定が表示されます (0.0)。

絞り設定
指定した絞り設定を表示します (F/11)。

シャッタースピード設定
指定したシャッタースピードの設定が表示されます (1/1000 秒)。

撮影可能枚数
撮影可能な残数を表示します (残り 621 枚)。

白　AFインジケータ ノーマルモード

緑　AFインジケータ　AF設定済

赤 AFインジケータ　AF設定失敗

カメラのライブビュー

タッチディスプレイ上にライブビュー機能が標準で備わっています。

カメラモードにて

タッチディスプレイの右にある星マークの選択ボタンを押すと100% ズームします。これでフォーカスエリアの詳細な画像をみることができます。また設定によってレンズのフォーカスリングを回転させるとフォーカスを調整することができます。

もう一度星マークの選択ボタンを押すとズームから戻ります。

タッチディスプレイ右の X マークの画像削除ボタンを押すとグリッドのオーバーレイを取り除くことができます。

再度タッチディスプレイ右の X マークの画像削除ボタンを押すと露出、撮影枚数、ISO とバッテリー情報が削除されます。オートフォーカス表示は消えることはありません。

3回押すと、構図のグリッドや露出、撮影枚数、ISO、バッテリー残量情報がライブビューのオーバーレイで表示されます。

動画モードにて

タッチディスプレイ右にある星マークのボタンを押すと 100% ズームします。これでフォーカスウェリアの詳細な画像をみることができます。レンズのフォーカスリングを回転させるとフォーカスを調整することができます。

もう一度星マークの選択ボタンを押すとズームから戻ります。

録画中に撮影情報、ISO、バッテリー残量、録画時間が表示されます。

この章はつぎのページにつづきます。

タッチディスプレイ：　グリッドが入ったライブビューの例

タッチディスプレイ：　動画撮影時の動画画面の例

ライブビュー

この機能は、フォーカス、構図、被写界深度を正確に把握するために使用します。

1　シャッターリリースボタンを半押しするとタッチディスプレイ上にライブビューが表示されます。
2　B のボタンを押すとオーバーレイが表示されます。
3　A または E のボタンを押すとライブビューが終了します。

注意！
EVF（電子ビューファインダー）に目を近づけて起動し、EVF を使用しはじめると、タッチディスプレイのライブビュー機能はタッチセンサーの助けを借りて（バッテリーを節約するために）タッチディスプレイをオフにします。これは EVF ディスプレイの右側に表示されます。もう一度スイッチを切り替えてタッチディスプレイを見ると、EVF はオフになりタッチディスプレイが有効になります。

ライブビュー設定

オーバーレイ
ライブビュー時のオーバーレイ表示を選びます。(B) のボタンでオプションを選びます。
- 露出情報
- グリッド+露出情報
- なし
- 水準器（詳細は水準器の章をご覧ください。）

ライブビュー時のズーム

1　タッチディスプレイをダブルタップするか、タッチディスプレイの右にある星印（C）のついた選択ボタンを押すと、その特定の領域が実際のピクセルサイズ（100%）に拡大します。
2　もう一度ダブルタップすると、縮小されキャプチャ全体が表示されます。
3　スワイプすると、画像を移動して他の領域を表示できます。

Entire Capture before zoom in

100% view before Focusing

ライブビュー時のフォーカス

1　タッチディスプレイをダブルタップするか、タッチディスプレイの右にある星印がついた選択ボタンを押して、選択したフォーカスエリアにズームインします。
2　手動でレンズの焦点を調整します。
3　縮小してキャプチャ全体を表示するには、星印がついた選択ボタンを押すか、タッチディスプレイをダブルタップします。

100% view after Focusing

注意！
ライブビューは一般の操作に比べて高い電力を消費します。ライブビューを使用するとバッテリー電源のみの場合は、カメラの使用時間が短くなります。

HDMI で接続した外づけモニターでのライブビュー

外づけ動画モニターと HDMI コネクターソケットを接続する (1) と外づけ動画モニターでライブビューを見ることができます。

注意！
ライブビューは一般の操作に比べて高い電力を消費します。ライブビューを使用するとバッテリー電源のみの場合は、カメラの使用時間が短くなります。

3.19 フォーカス

フォーカス補助

X1Dカメラには自動フォーカス補助の機能が備わっています。画面中央の白い四角が緑になると正しくフォーカスされていることを表し、オートフォーカス時に有効なツールです。

マニュアルフォーカス設定

オートフォーカスモード時であってもマニュアルフォーカスをいつでも使用できます。マニュアルフォーカスモードに切り替え、レンズ上でマニュアルフォーカスリングのみを使用することもできます。

1　100% にズームインするために、タッチディスプレー右側にある星印の選択ボタンを一度押してください。
2　これにより、フォーカスしたい部分の詳細を見ることができます。レンズのフォーカスリングを回し、フォーカスを合わせます。
3　星印の選択ボタンを再度押し、ズームモードを終了します。

オートフォーカスの利点を使いながら、マニュアルでフォーカスコントロールする場合は、AF-D ボタンを AF(Single) drive に設定する方法があります。正しくフォーカスするために、主な撮影対象を画面の中心に設定し AF-D ボタンを押します。AF-D ボタンを離した瞬間から、カメラはマニュアル・フォーカスに切り替わります。これによって、レリーズボタンを押しっぱなしにせずにオートでフォーカスされた状態を保持したまま画角を再構成することができます。

注意！
AF モードの時のみ、カメラは 緑または赤の AF フォーカスアシスト・インジケーターを表示します。

注意！
レンズ補正は、画像が Phocus 上にインポートされた時に適用されます。それぞれの画像に含まれるメタデータによって、DAC(digital lens correction) ツーがそれぞれの画像に適した色収差補正、歪み補正、ケラレ補正を行います。この補正計算には、モード設定のみでなく撮影パラメーターの情報も含まれています。この非常に有能な補正の機能は、画像を現像する際に忘れてはなりません。

注意！
設定の組み合わせによっては、オートフォーカスが機能しない場合があります。

白　AFインジケータ ノーマルモード

緑　AFインジケータ　AF設定済

赤　AFインジケータ　AF設定失敗

マニュアルフォーカス

マニュアルフォーカスモードの設定と、マニュアルオーバーライド機能の両方があります。

マニュアルフォーカスモードでは、レンズのフォーカシングリングを回転させてピントを合わせます。オートフォーカス機能のないレンズ同様、ピントは変更するまでそのままです。オートフォーカスに戻すには AF/MF ボタン (B) を押します。

オートフォーカスモードにおけるマニュアルオーバーライド

オートフォーカスモードでマニュアルオーバーライドを使うためにあらたな設定は必要ありません。従来通りフォーカシングリングを回転させるだけです。マニュアルの微調整はフォーカシングリングで行うことができます。ただし、マニュアルでの調整を保持するには、シャッターレリーズボタンを押し続ける必要があります。オートフォーカスモードへ自動で変更するには、シャッターレリーズボタンから一度指を離し、再度半押しすることで変更することができます。マニュアルオーバーライド機能は非常に便利な操作方法です。この便利な機能を利用することで、マニュアルフォーカスに設定を変えることなくピンポイントにオートフォーカスを利用し正確にピント合わせをすることが可能になります。

AF オートフォーカス・MF マニュアルフォーカスの設定

1　AF ボタンを押します (B)。
2　フロントスクロールホイールを回して(A) マニュアルまたはオートシングルショットを選びます。
3　AF ボタン (B) またはシャッターレリーズボタンを押して保存します。

A　フロントスクロールホイール
B　AF / MF ボタン

オートフォーカス

シャッターレリーズボタンを半押しにすることで、オートフォーカスモードを作動させることができます。

オートフォーカスは、ISO 100 で EV1 から EV19 までの範囲で作動します。

フォーカスは中央の四角いエリア内でコントラストの最大値で決まります。

また、ニコン SB 600 などの外づけフラッシュを利用することもできます。この機能は設定で変更できます。

オートフォーカス補助光

オートフォーカス補助光（A）が選択されている場合、自動的に作動します。作動距離は被写体までの距離が 4M までです。

白 AF インジケータ

緑　AFインジケータ　AF設定済

シングルショット フォーカス（単写フォーカス）

AF-S は、シングルショット フォーカスです。シングルショット フォーカスでは、焦点が合わない限り、シャッターを押せません。これは、確実にピントが合っていないと、写真が撮影できないということです。良い照明条件とはっきりしたフォーカシングパターンの被写体の際には、一連の動作は瞬間的に行われます。

注意！
このモードでは、シャッターレリーズボタン (A) を半押し続ける限り、一定箇所の距離をはかり、そのピントを保持します。

この方法を使うことで、手前の被写体に一度ピントを合わせ、シャッターレリーズボタン (A) を半押ししつづけピントの位置を保持しながら構図を変更することができます。こうすることで、フォーカス画面中央の四角型の枠で囲まれるフォーカシングゾーンの外の被写体にピントを合わせて撮影することが可能になります。

シャッターレリーズボタン (A) から一度指をはずし、再度半押しすることでフォーカス設定をフォーカスゾーン内にある被写体に変えられます。

マニュアルと AF 設定を組み合わせた撮影方法については AF モードにおけるマニュアルオーバーライドのページをご参照ください。

AF フォーカス

フォーカスピーキング

フォーカスピーキング作動時、ピントがあっていない。

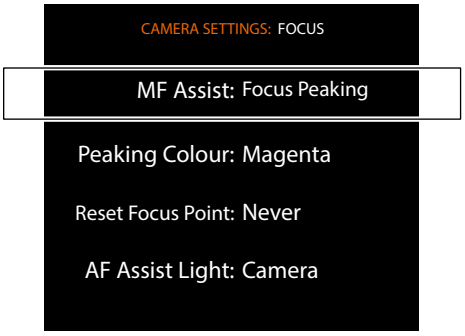
ピントがあっている箇所はフォーカスピーキングが表示される。

フォーカスピーキングの使い方

フォーカスピーキング機能は、マニュアル・フォーカスをされる場合にどの部分がフォーカスされているかを判断するための補助ツールです。フォーカスピーキングは、オートフォーカスモードでは機能しません。

マニュアル・フォーカス時にフォーカスピーキングが作動している場合、フォーカスリングを回すことにより、対象物のフォーカスされた部分の色が（この場合マゼンタ）変化します。

フォーカス設定メニュー

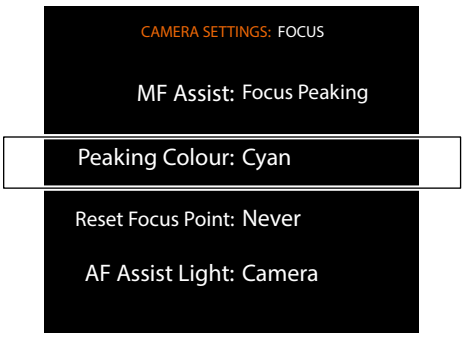


MF アシスト画面

フォーカス設定の内容

MF アシスト
マニュアルフォーカス・アシスト
下記の3つからお選びください：
- フォーカスピーキング
- オートズーム
- なし

フォーカス設定メニュー

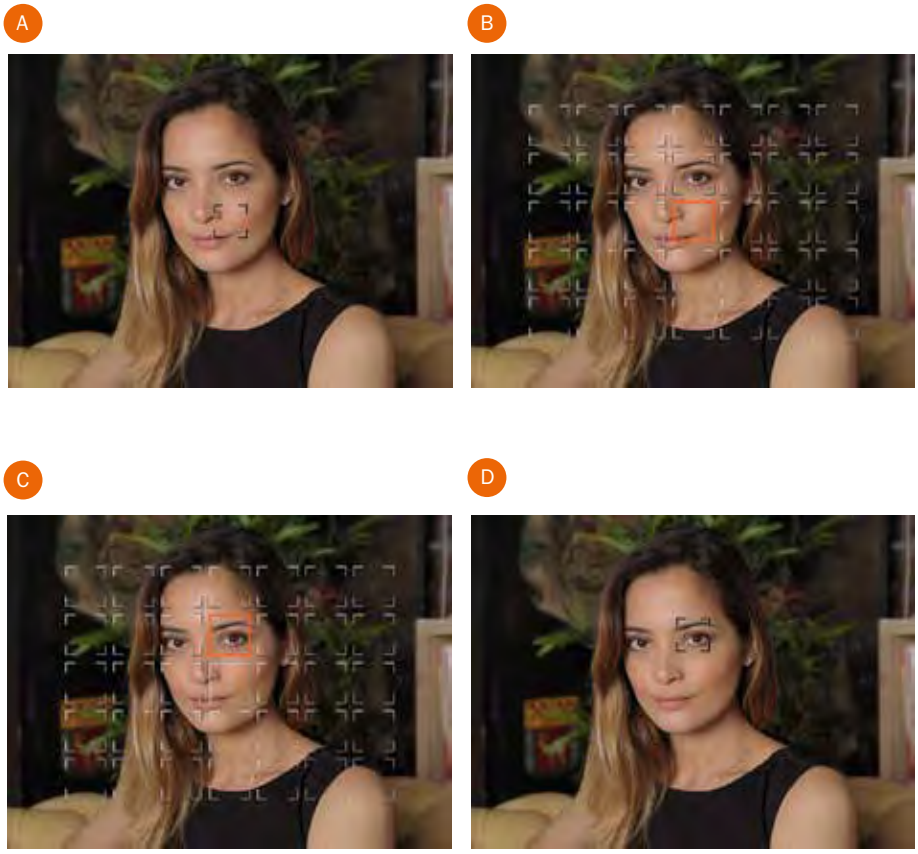


ピーキングカラーの画面

ピーキングカラー
ピーキングの色をお選びください。
- オレンジ
- 黄色
- シアン
- マゼンタ

3.20 AFポイントの移動

オートフォーカスポイント (A) は移動できます。35 か所の AF ポイント (B) の任意の点に設定することができます。AF ポイントは 4mm 角に相当する部分を測定します。



ライブビューモード時に、タッチディスプレイ上または EVF 上でオートフォーカスポイントの移動する方法

1　ライブビューモードにするか、EVF を覗きます。
2　AF ポイントが中心に一つ現れます。
3　AF/MF ボタンを1秒間長押しします。
4　B の画像のように、35 ヶ所のフォーカスポイントがオーバーレイされます。
5　タッチディスプレイをタップするか、リアスクロールホイール (L) を左に回し (C) のようにフォーカス位置を1ステップ上に設定します。
6　シャッターボタン (F) を半押しすることで、位置を記録し設定を完了します。AF ポイントは新しく設定された位置になりました (D)。

AF ポイント移動のためのスクロールホイールの使い方

AF ポイント	リアスクロールホイール (L)
上に移動	左に回す
下に移動	右に回す

AF ポイント	フロントスクロールホイール (G)
左に移動	左に回す
右に移動	右に回す

AF ポイントの設定、保存、終了の方法

下記の3つのボタンのうちの一つを使用します：
- シャッターレリースボタン (F) を半押しする
- AF-D ボタンを押す (I)
- スターボタンを押す (J)
- AE-L ボタンを押すと、保存せずに終了します

注意！

AF ポイントを中心の位置にリセットする場合は、X マークのついた画像削除ボタン (K) を押してください。

注意!

メインメニュー > カメラ設定 > フォーカス > フォーカスポイントのリセットで、フォーカスポイントを中央位置に自動的にリセットするか、選択した位置を維持するようにカメラを設定することができます。

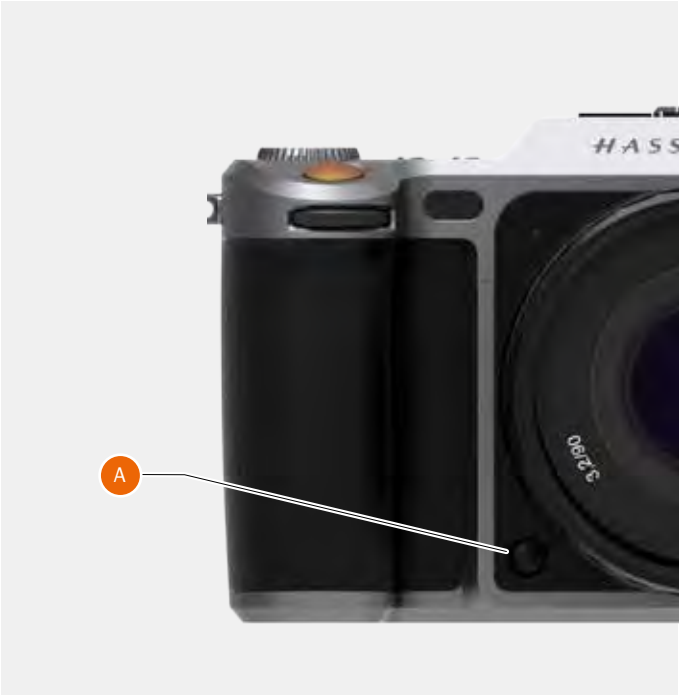
Photo A, B, C and D by Damien Demolder.

3.21 絞り込みボタン

絞り込み / 被写界深度プレビュー

絞り込み機能
絞りは通常撮影の間のみ絞り込むことができます。それ以外の状況では絞りは完全に空いています。

結果としてビューファインダーとタッチディスプレイでは、設定した絞りより狭い被写界深度を表示します。



被写界深度のプレビュー方法
被写界深度のプレビューチェックは以下の説明をご覧ください。

1　絞り込みボタン (A) を押します。
2　(A) を押したままそれを維持します。
3　レンズが現在の絞り設定に絞り込まれます。
4　絞り込みボタン (A) を押している間はビューファインダーとタッチディスプレイには被写界深度のプレビューが表示されます。
5　ファインダー内またはタッチディスプレイ上の被写界深度を確認します。
6　絞り込みボタン (A) を離し、絞りを再度開けます。

注意！
被写界深度は完全ではありません。いくつかの要因が反映されるためおおよそのガイドと捉えてください。

3.22 グリップ部分での設定変更

AF/MF 、ISO/WB(ホワイトバランス) 設定変更方法

AF/ MF モード

1　カメラグリップ上にある AF/MF(D) ボタンを選択します。
2　AF と MF を切り替えるには AF/MF ボタンを再度押します。

ISO / WB (ホワイトバランス) モード

1　カメラグリップ上部の ISO/WB (C) を選択します。
2　ISO を選択するには ISO/WB ボタンを 1 度押します。
3　WB を選択するには ISO/WB ボタンを 2 度押します。
4　戻るにはボタンを3度押します。

ISO　　ISO モードの数値を変更するには、ISO/WB ボタンを 1 度押し、リアスクロールホイールまたはフロントスクロールホイールを左右に回します。

WB　　ホワイトバランスのモードを変更するには、ISO/WB ボタンを2度押し、リアスクロールホイールまたはフロントホイールを左右に回します。WB がマニュアルモードのときはリアスクロールホイールを使って設定します。

撮影モードダイヤル

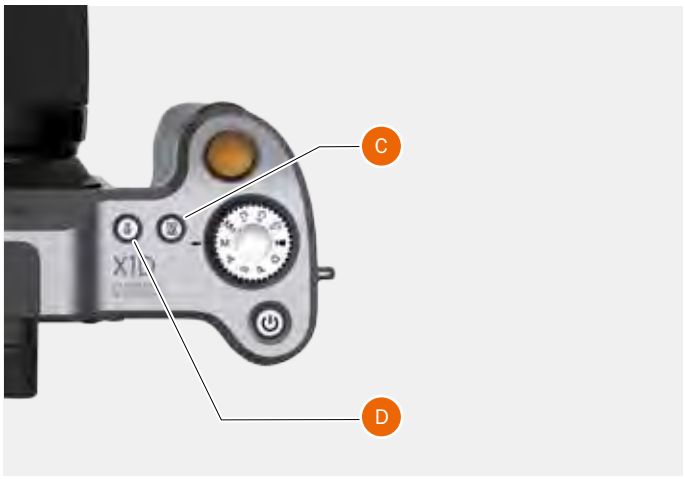
M =　　マニュアル
MQ =　　マニュアルクイック
A =　　絞り優先
S =　　シャッタースピード優先
P =　　プログラム
Video =　動画
□ =　　自動 (ISO 感度の自動設定、ある機能が限定、固定)
C1 =　　カスタムプログラム 1
C2 =　　カスタムプログラム 2
C3 =　　カスタムプログラム3

マニュアルクイックモード、MQ

マニュアルクイックモード (MQ) を選択するとシャッターが閉じます。事前に露出や構図などをほかの撮影モードで設定しておきます。マニュアルクイックモードはライブビューに対応しません。結果として早く撮影でき、またバッテリーの持ちがよくなります。

カスタムモード

カスタムモード C1、C2、C 3は、お好みのカメラ設定をカメラのメモリーに保存でき、素早くアクセスできる 3 つのモードです。



グリップ部分でシャッターと絞りを調整する方法

注意！
マニュアルモードの際は、グリップ上のフロント / リアスクロールホイールで調整してください。

注意！
レンズやカメラ本体にはマニュアル設定を行うリング表示はありません。設定はビューファインダーのディスプレイ上に表示されます。

シャッタースピードと絞りを調整する方法

フロントスクロールホイール (A) を回すとシャッタースピードと絞りを変更できます。

リアスクロールホイール (B) を回すとシャッタースピードと絞りを変更できます。

マニュアルモード (M) のとき :
フロントホイール = 絞り
リアホイール = シャッタースピード

絞り優先モード (A) のとき :
フロントホイール = 絞り
リアホイール = シャッタースピードのクイック露出補正

シャッタースピード優先モード (S) のとき :
フロントホイール = シャッタースピード
リアホイール = 絞りのクイック露出補正

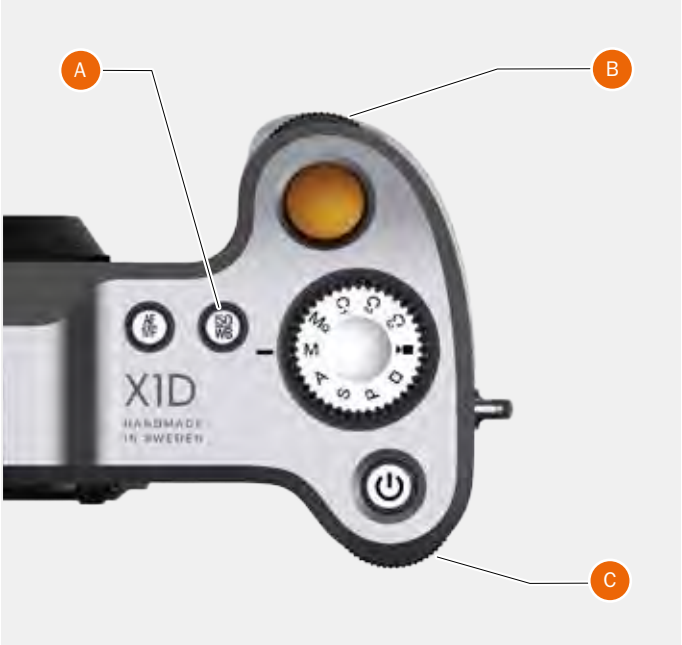
プログラム優先モード (P) のとき :
フロントホイール = 絞り・シャッタースピードのコンビ
リアホイール = クイック露出補正

ISO とホワイトバランス

ISO とホワイトバランスは、カメラグリップ、タッチディスプレイ上、もしくはテザー撮影時は Phocus 画面上で調整できます。

- カメラグリップの ISO/WB ボタンを使うことで、直接 ISO 及びホワイトバランスを調整できます。フロントスクロールホイール (B) とリアスクロールホイール (C) で変更することができます。 これらの調整による変更は、タッチディスプレイ上、もしくは電子ビューファインダー (EVF) 上に表示されます。
- タッチディスプレイでは、タッチディスプレイ上、もしくはディスプレイ画面横の表示切り替えボタン（長方形のマーク）で変更できます。
- Phocus 上では、カメラ設定をコントロールする特定のツールがありますので、そちらをご利用ください。

設定はカメラ内で自動で調整されると同時に、タッチディスプレイ上もしくは電子ビューファインダー上に表示されます。



注意！
変更調整されたホワイトバランス設定は、保存されてから初めてタッチディスプレイ上に表示されます。ホワイトバランスの設定に関しての詳しい情報はタッチディスプレイ設定のページをご参照ください。

ISO

1　ISO/WB ボタンを押します (A)。
2　フロント、リアスクロールホイール (B)(C) で ISO 設定を選択します。

ホワイトバランス WB

1　ISO/WB ボタンを 2 度押します (A)。
2　フロント、リアスクロールホイール (B)(C) でホワイトバランスを昼光、日陰、曇天、フラッシュ、蛍光灯、タングステン、マニュアル WB から選択します。
3　色温度をマニュアルで設定する場合、フロントスクロールホイール (B) で M/WB が表示されるまでスクロールします。マニュアルの色温度が画面下に表示されます。
4　マニュアル WB を設定は、リアスクロールホイール (C) を使用します。

注意！
ホワイトバランス設定は、Raw ファイル (fff/3fr) ではそれほど重要ではありません。Raw ファイルデータは撮影時のオリジナルの色温度や光源、色温度設定など Phocus やその他のソフトウェアでの色補正時に必要な画像形成に関わるすべての情報が入っています。撮影時に Raw と JPEG 両方で保存する場合、または Phocus で JPEG を生成したり、JPEG ファイルから直接プリントを制作する予定がある場合は、ホワイトバランスの設定を的確に行う必要があります。

注意！
ISO とホワイトバランスの設定は、カメラグリップ若しくはタッチディスプレイで行います。変更された設定は自動でタッチディスプレイと電子ビューファインダー上に表示されます。

3.23 プレビューとヒストグラム

撮影した画像を見る

タッチディスプレイ横のプレビューボタン (C) を押します。

プレビューモードでは、カメラグリップのフロントスクロールホイール (A) を使い、画像表示を切り替えます。

画像を左右にスワイプすることで画像表示を切り替えることも可能です。

撮影画像を消去するには、画像削除ボタン (D) を押します。

ズームアウトしてフォルダー表示にすると他のフォルダーを見ることができます。

シャッターレリーズボタン (B) またはメニューボタン (E) を押してプレビューモードに戻ります。

プレビューボタン

プレビューボタン (C) を押すと最後に撮影した画像が表示されます。画像をみたり、ズームすることができます。ピントが合っていることを確認するためにプレビューをズームして確認することができます。ズームアウトすることで、一度に数枚の画像を確認し、フォルダとメディアを選択することができます。

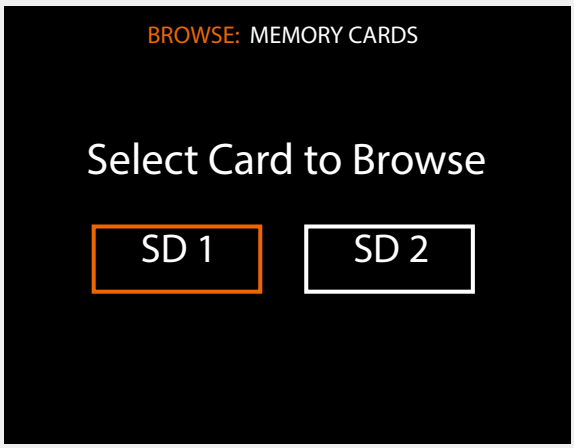
メインメニューで値を設定する選択ボタンでもできます。

メニューボタン (E) を押してメインメニューに戻ります。

プレビューを見るためにカードを選択する

SD1 カードまたは SD2 カードを選ぶことができます。

カードの選択



スタンダード プレビュー

スタンダードプレビューは、はじめにカメラの電源を入れたときに表示される画面で、一番見ることが多い画面です。

一番最後に撮影された画像と、その基本設定と情報が表示されます。

1　SDカード (1または 2)
2　撮影日
3　撮影時刻
4　絞り (f/8)
5　シャッタースピード (60)
6　ISO 設定 (100)
7　+/- 露出補正インディケータ
8　露出補正EV値 (0.0)

9画面サムネイルモード

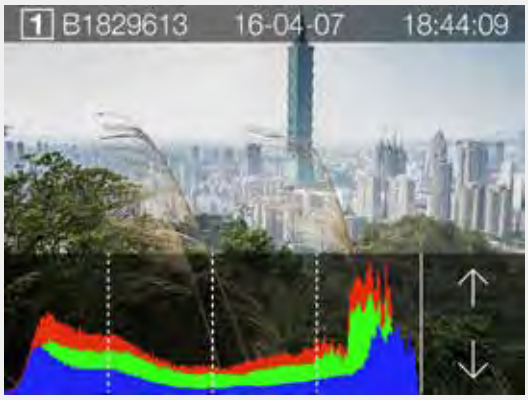
9画面サムネイルモードを表示するには、プレビューモード時にAE-Lボタンを押します。この9画面サムネイルモードでは、最大９枚の概要を確認することができます。9枚以上撮影された画像がある場合、ディスプレイ画面右側を下にスワイプすることでこれまでに撮影されたすべての画面を確認できます。
また、一枚だけ選んで詳しい情報を見ることができます。

ヒストグラムの種類

ヒストグラムの種類は:ヒストグラム モード、キャプチャー ディテール モード、ヒストグラム コンバインド モード、セパレート ヒストグラム RGB モードです。

ヒストグラム モード

ヒストグラムモードは RGB ヒストグラムを R(赤)、G(緑)、B(青) ごとのヒストグラムに分けて表示します。RGB の詳細は画像データとともに保存されるため、Phocus やその他の画像編集ソフトでも引用し参照することができます。



撮影詳細モード

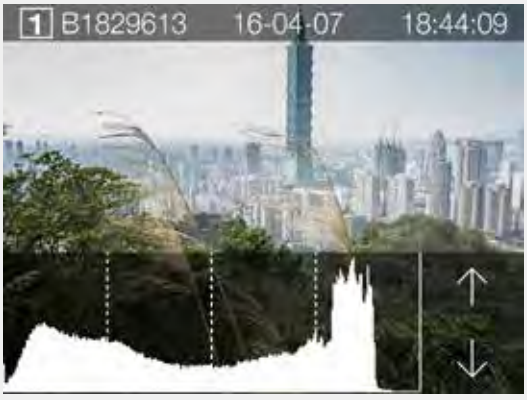
このモードは以下を表示します。SD カード (1)、撮影日時 (16-04-07)、撮影時間 (18:44:09)、撮影時の絞り値 (f/11)、シャッタースピード (1/60)、ISO 感度 (200)、EV 設定 (+/- 0.0)、撮影モード (M)、測光方式 (スポット)、ホワイトバランス (昼光)、レンズ情報 (45mm)。

ヒストグラム表示の変更方法

画像の下の部分をタッチするか、リアスクロールホイールで変更します。

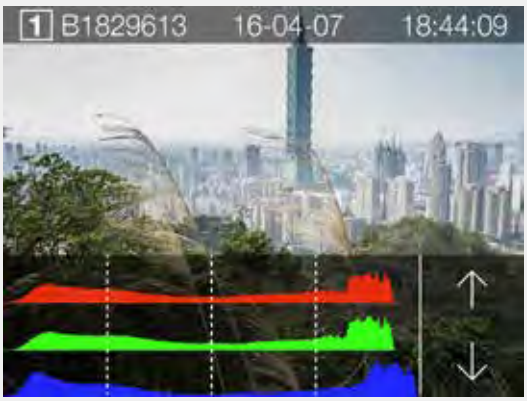
LUMINANCE HISTOGRAM MODE 輝度値ヒストグラム

輝度値ヒストグラムモードの RGB チャンネルは輝度のヒストグラムを表示します。輝度値は白いグラフで表示されます。

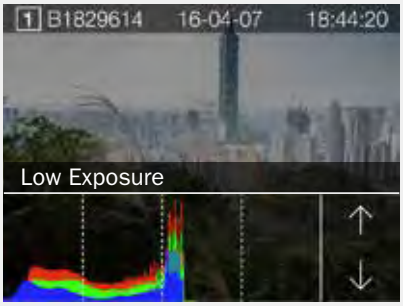


セパレート ヒストグラム RGB モード

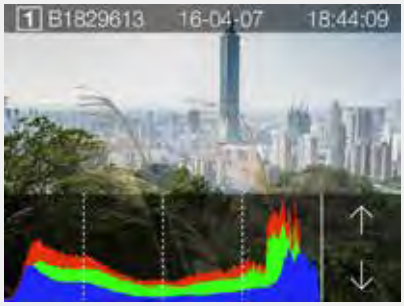
セパレート ヒストグラム RGB モードでは、RGB それぞれが独立した状態で表示されます。一番上から R(赤)、中央に G(緑)、一番下に B(青) とそれぞれのヒストグラムが表示されます。



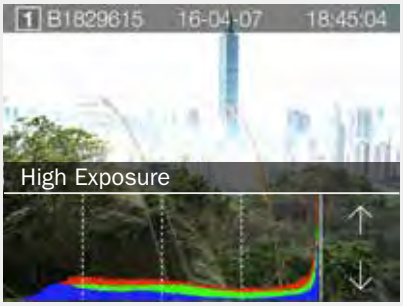
ヒストグラム　露出モード



露出アンダー



適正露出



露出オーバー

ヒストグラム露出

ヒストグラムは輝度レベルのピクセル総数を示すスケール状のグラフで、グラフ左側がアンダー露出(黒)、右側がオーバー露出(白)を表し、撮影画像を評価するために重要なツールです。

露出が適正な画像では、グラフ上を均一にレベルが表示されますが、アンダーの場合はスケールの左側に、オーバーの場合はスケール右側にレベルが偏って表示されます。

狙った効果を得るためには撮影状況によっては、ヒストグラムの示す指標が必ずしもいいとは限らないため、ヒストグラムはあくまでも一つの指標としてご理解の上、ご利用ください。

ヒストグラムの例と説明は以下をご参照ください。

露出アンダー

スケールの左側に情報が偏りがあり、その他のエリアにピクセルが確認できる程度の場合、露出アンダーの傾向を示します。シャドウ部で多くのディテールが失われている可能性を示します。

適正露出

スケール状のグラフ全範囲に渡りピクセルが分布している場合、適正露出を表します。グラフの両極端部分に幾つかのピクセルが確認でき、両明暗部分にスペクトルを確認できるのは適正露出においては 正常と言えます。

露出オーバー

スケールの右側に情報の偏りがあり、その他のエリアにピクセルが確認できる程度の場合、露出オーバーの傾向を示します。ハイライト部分で多くのディテールが失われている可能性を示します。

3.24　GPS モジュール

X1D には、ホットシューに取りつけられる外づけの GPS モジュールがあります。GPS モジュールはホットシューに取りつけると自動的に電源が入ります。カメラ側で設定をおこなう必要はありません。撮影位置は各画像ファイルにタグづけられ、Phocus 上で確認することができます。GPS は外部バッテリーや電源を必要としません。GPS モジュールは撮影を邪魔することなく、簡単に使うことができます。GPS の位置情報は毎秒ごとに更新されます。

外づけ GPS モジュールの取りつけ方法

1　金属製の接続部を下にして外づけ GPS モジュールを持ちます (A)。
2　カメラ側のホットシューコネクタ部よりホットシューについているホットシュープロテクターを取りはずします (B)。
3　ホットシューに GPS モジュールを差し込みます (C)。
4　GPS モジュールがカメラ側のホットシューコネクタの奥まで確実に差し込まれ、取りつけられているか確認します。

注意！
外づけ GPS モジュールは X1D 専用に作られています。X1D 以外のカメラには取りつけないようにしてください。X1D 用外づけ GPS モジュールを X1D 以外のカメラに取りつけた場合、外づけ GPS モジュールやカメラ本体が破損する恐れがあります。

注意！
外づけ GPS モジュールがパッケージに同梱されていない場合、ハッセルブラッド・ジャパンよりお送りします。販売時のパッケージに同梱されている書類をご確認ください。

GPS アイコンのステータス

GPS が作動している場合、ビューファインダーやディスプレイ上の設定画面の左上に GPS アイコンが表示されます。コントロールスクリーンを開いている場合には、画面やや中心あたりに GPS アイコンが表示されます。

GPS アイコンには３種類の異なる表示方法があります：

アイコンが常に表示される
GPS は位置情報を獲得しました。

アイコンが点滅する
GPS は位置情報を獲得できていません。

アイコンが非表示
GPS モジュールがカメラに認識されていません。もしくは GPS モジュールがカメラに接続されていません。

注意！
X1D カメラ本体及び GPS モジュールが屋内、トンネル、森、大きな木の近くなど、状況によっては X1D GPS モジュールが僅かにしか作動せず、位置情報がほとんど（もしくは全く）つかめない場合があります。

GPS 仕様詳細

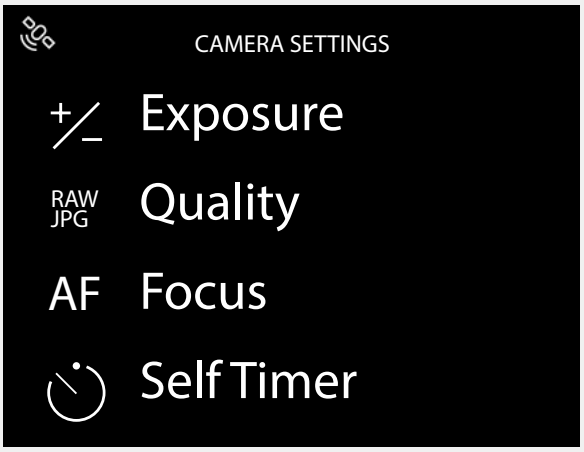
レシーバータイプ
この GPS は 72 チャンネル u-blox M8 エンジンで、以下に対応しています：

GPS L1C/A.
SBAS L1C/A.
QZSS L1C/A.
GLONASS L1OF.
Galileo E1B/C1.

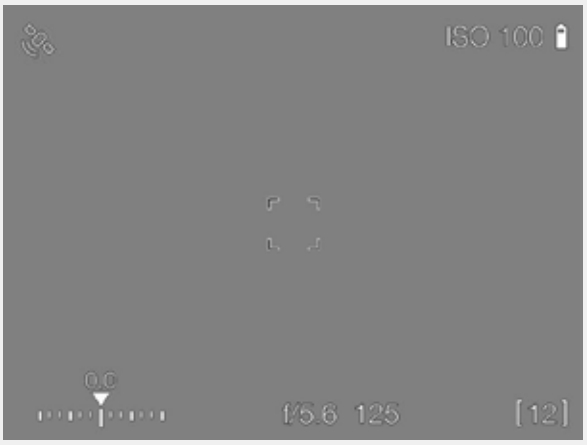
水平位置の正確性
2.0 m。SBAS と QZSS に含まれます。

コントロールスクリーンの GPS アイコン

設定メニューの GPS アイコン



ビューファインダーでの GPS アイコン



3.25 PHOCUS の概要

Phocus

Phocus は、おもに Hasselblad 3F ファイル向けの画像処理およびファイル管理アプリケーションです。Phocus は、Mac と Windows の両方で利用することができます。

プロフェッショナルな画質

Phocus は、ハッセルブラッドナチュラルカラーソリューション（HNCS）とデジタル自動補正（DAC）を組み合わせ、作成した画像を高品質のデジタル画像で提供します。非常に高解像度の画像でも発生する可能性があるモアレは、自動的かつ直接的に RAW データの画質を損傷することなく、Phocus で効果的に除去できますので、撮影後の作業時間を節約できます。テザー撮影は、数々の遠隔操作機能をもった Phocus リモートカメラコントロールで行うと効率的です。リモートでピント合わせ、ライブビュー、絞りや露出時間を調整できます。

Phocus Mobile

Phocus Mobile は iPhone®、iPad® 、iPod Touch® でお使いいただけます。Phocus を実行しているコンピュータに Wi-Fi を接続し、リモートで高解像度の Raw、Jpeg、Tiff 画像を閲覧することができます。スタジオでのクライアントと作業するためのソリューションとして、それぞれが各自の iOS のデバイスを通して画像を共

有できる環境を提供します。Phocus Mobile は、テザー連結カメラを遠隔で操作し、トリガーの操作、多くのパラメータのコントロール、仮想カメラのディスプレイを表示します。この機能は、アクセスする場所が難しい位置に設置されたカメラを遠隔で操作するのに大変便利です。

Phocus Mobile は、Apple の App Store にて無料でダウンロードできます。 www.apple.com。

3.26 PHOCUS

PHOCUS の特長

プロフェッショナルな画質

- ハッセルブラッド ナチュラル カラー ソリューション (HNCS)。
- X、H、V システムのレンズデジタル自動補正 (DAC)。X1D カメラは X および H システムレンズのみサポートしています。

専門ツール

- 高度なテザーカメラコントロール
- Phocus Mobile*.
- シーンキャリビュレーションとリプロダクションツール
- 優れたモワレ除去
- ハイライトリカバリー、黒つぶれ、鮮度、ダストスポット除去ツール
- 選択調整機能
- 使いやすいインターフェース
- ワークフロー別広範囲カスタマイズ
- インポート、出力時の画像調整、キーワード、ワークフロー設定
- 高画質印刷
- スライドショー
- 一眼レフカメラの RAW ファイルサポート 150 以上

どこからでもどのファイルを

Phocus は、ハッセルブラッドを含む他社メーカーの RAW 画像ファイルをインポートし、直感的な画像処理環境を提供します。ファイル形式が RAW であろうとなかろうと、画像をブラウザし、操作、編集そして処理する環境を与えます。

Phocus は Canon、Nikon、Leica、Sony、Fuji、オリンパスを含む 150 以上のカメラの RAW ファイルに対応しています。** TIFF、JPEG、DNG、PNG など主たる画像ファイルにも対応しています。
(ただし、一部編集機能は第三者企業のファイル形式には対応していないことがあります。)

卓越したイメージクオリティ

Phocus は、ハッセルブラッドナチュラルカラーソリューション (HNCS) とデジタル自動補正 (DAC) を組み合わせ、作成した画像を高品質のデジタル画像で提供します。非常に高解像度の画像でも発生する可能性があるモアレは、自動的かつ直感的に RAW データの画質を損なうことなく、Phocus で効果的に除去できるため、撮影後の作業時間を節約できます。テザー撮影は、数々の遠隔操作機能をもった Phocus のリモートカメラコントロールを使い、リモートでピントを合わせたり、ライブビュー、絞り、シャッタースピードなど調整することができます。

*Phocus Mobile は Apple App ストアで無料でダウンロードができます。
** Phocus において使うことができるカメラファイルのリストは http://www.apple.com/aperture/specs/raw.html にて確認できます。

3.27 コンピューターに接続する

1　USB 3.0 をコンピューターの USB ポートに接続します。
2　カメラ側の「コネクタースロットカバー」を開けます。
3　カメラ側の USB ポートに USB 3.0 を接続し、パソコンに接続します。

Phocus 側からシャッターを切った場合、コンピューター側が X1D に信号を送ることでシャッターを切ります。（ストロボが接続されている場合は接続されているものを含みます。）カメラはそれを受け、撮影した画像を USB を通じてコンピューターに送り、コンピューターのスクリーン上に画像を表示します。撮影された画像は 16bit の 3F ファイルとして、指定されたコンピューターハードディスク上の保存場所に保存します。

注意！
コンピューターに接続されている場合、以下が適用されます：

- 保存場所は Phocus からコントロールします。
- Phocus を通して撮影を行う場合には、ISO 感度、絞り、シャッタースピードなどの撮影設定は Phocus 上でおこなえます。加えて、ライブビデオやリモートでのフォーカスなどの機能が使えます。詳細は Phocus ユーザーマニュアルをご覧ください。

PHOCUS とハッセルブラッドの撮影画像ファイル

X1D では Hasselblad RAW、もしくは Hasselblad RAW + JPEG 同時保存のどちらかを選ぶことができます。

ハッセルブラッド RAW ファイルは、ハッセルブラッド固有の RAW ファイルである3FR 形式で一時的に保存されます。3FR ファイル形式には、カメラで撮影されたそのままのデータが保有され、完全なデジタル RAW ファイルとして保存されます。3FR に包括されている画像情報を完璧に引き出し編集処理をおこなうには、Phocus に代表されるようなさらなるコンピューターでの処理が必要になります。Phocus 上において処理が行われた 3FR ファイルは、3F ファイルに変換され、ファイル形式は「.fff」と表記されます。Phocus 以外の RAW 編集ソフトウェアで処理された場合、3FR ファイルは 3F ファイルに変換されず、直接 TIFF 若しくは PSD など要求に合わせたファイル形式で処理されます。
Phocus をご利用いただく必要があるテザー撮影時には、3FR ファイルは自動的に 3F ファイルに変換されます。変換された画像はパソコンのハードドライブ上に指定された保存先に保存され、その後の編集や出力に備えます。

SD カードに保存された 3FR ファイルは以下のソフトウェアで編集処理ができます：

- Hasselblad Phocus
- Adobe Camera Raw
- Adobe Lightroom
- Apple Aperture

SD カードに保存された撮影画像は 3FR ファイルとして保存され、Phocus を含む画像処理およびファイル管理ができる他のソフトウェアを通じて 3F ファイルなど編集ができるファイル形式に変換されます。(3F ファイルはテザー撮影時に自動的に変換されたり、Phocus で処理変換がおこなわれたファイル形式です。) 撮影された 3FR ファイル形式の画像ファイルを保存しておくことで、将来的に機能面においてより向上しつづける Phocus やその他のソフトウェアで画像を損傷することなく再度 RAW 現像ができるようになります。

さまざまなフォーマット形式

Phocus を使うことで、流通する多くの保存形式で保存されたファイルフォーマットを処理することができます。それら他のファイルフォーマットの形式を Phocus 上に追加し記憶させることも、または Adobe/Apple のワークフローにハッセルブラッドのファイル形式を追加することもできます。

注意！

Phocus を使うことで、画像の処理において最高の結果を引き出すことができます。他のデジタル画像編集ソフトウェアは似たような結果を引き出すことができたとしても、ハッセルブラッド Phocus と同じ結果を引き出すことはできません。

3.28 バッテリー

リチャージャブル バッテリー

環境認証を受けたバッテリー (Li-ion 3054752) が、X1D の電源です。(1 & 7) 完全に充電されたバッテリーはお手元に保管してください。また他のバッテリーと同様、極端な低温度の環境下において問題を引き起こす場合があります。こういった低温度の環境下においては、バッテリーを温かいポケットなどに入れ、なるべく体温に近い温度で保つように保管してください。

バッテリーの取りはずし方法

1. カメラの底面にあるバッテリー取りはずしレバー (2) をスライドさせてバッテリーをはずします。(1)
2. 自動的に少しだけバッテリーの先端が飛び出します。
3. 出てきたバッテリーの底部分を少し押し戻しロックをはずします。(4)　この際、押しすぎるとボディに戻ってしまいます。
4. カメラ本体から取りはずします。(5)

バッテリーの取りつけ方法

バッテリー (1) をカメラ本体のバッテリー格納部にロックするまで押し入れます。

バッテリーチャージャー

バッテリーチャージャー BCX-1 (3053573) は世界各地でご利用いただけるように、幾つかの異なるプラグのアタッチメントとともに提供されます。コンセント接続の際にその他のプラグが必要な場合には、コンセントコンバーターをその都度ご用意ください。

コンセントに合わせたプラグのアタッチメントを右のイラストのようにスライドして差し込みます。プラグのアタッチメントを取りはずす際には、スライドして取りはずします。

バッテリーの充電

カメラからバッテリー (3054752) を取り外し、バッテリーチャージャーのジャックを、バッテリーのソケットに差し込みます。(1) バッテリーチャージャーのコンセントをプラグに差し込み充電を開始します。(100–240V~ /50–60 Hz)

充電を行っている際に点灯するランプの色は以下を表します：

緑のランプが点灯
スタンバイ (未接続の状態)、
または充電完了

赤のランプが点灯
充電中

注意！
初回の充電を 100% 行うには、6 時間程度かかります。

リチャージブルバッテリーの仕様

LI-ION/ バッテリーチャージャー 3053573 BCX-1
– PRECAUTIONS and GENERAL

バッテリーは初回使用前に 6 時間程度充電を行ってください。

バッテリーは常温で充電してください。

数回の放充電を繰り返して初めてバッテリーは最大容量に達します。

バッテリーが完全放電してから充電を行うことを頻繁に行うことはなるべく避けてください。バッテリーは環境を破壊しないリチウムイオンタイプであり、実用上問題となるようなメモリー効果を有してません。そのため、完全放電する前に充電しても、容量や性能は低下しません。(完全放電の際には、「バッテリーを交換してください」という警告が表示されます。) 完全放電する前に、日々の使用頻度に合わせてその都度バッテリー充電を行うことをおすすめします。

カメラを長期間使用する予定がないなど、カメラを長期保管する場合には、漏電を防ぐために、バッテリーをカメラから取りはずし保管してください。

バッテリーには「燃料ゲージ」機能が内蔵されています。バッテリー交換およびバッテリー状況機能をサポートしています。ほとんどのリチウムイオンバッテリー同様、バッテリーの使用状況に応じてバッテリーをキャリビュレーションされることが望ましいです。キャリビュレーションを行うには、カメラの電源を入れたままにするか、カメラを使用し続けバッテリー交換警告が表示されるまでバッテリーを使いきります。その後、バッテリーを6時間充電します。この作業でバッテリーの残量を測る精度を上げます。

バッテリーチャージャーからバッテリーを取りはずし、入れ替わりに別のバッテリーの充電をおこなう際には、チャージャーが次の充電の準備をするために数秒の間隔をおいてください。チャージャーは自動でリセットされ、次の充電に備えることができます。

充電中にバッテリーが温かくなるのは正常な状態です。

温度が著しく高くなる、もしくは低くなる環境下において、バッテリーの精度が落ちる場合があります。その場合には適切な温度の環境下に戻してください。

バッテリーをしばらく使わない予定がある場合は、室温でおよそバッテリー残量が 30-40% 充電されている状態で保管してください。バッテリーの残量は点灯ランプの色で確認できます。

バッテリーは約 400 回の充放電サイクルで使用できる寿命があります。

バッテリーはカメラに正しく接続してください。

バッテリーを液体に浸さないでください。

バッテリーを焼却しないでください。

バッテリーはリサイクル、もしくは環境に配慮した処分方法で処分してください。

バッテリーチャージャーは屋内でのみ使用してください。(湿度に対する保護のため)

ジャックプラグをショートさせないでください。

バッテリーの充電に別の用途の全く違うチャージャーを使ったり、プラグのアタッチメント部分を改造したものを使用したりないでください。

注意！
バッテリーの消費は、ディスプレーオフ・パワーオフの時間を変更するか、ディスプレイの明るさ設定を変更することで抑えることができます。

ディスプレーオフ・パワーオフの変更 :「一般設定」内の「電源オフ&タイムアウト」から変更できます。

ディスプレイの明るさ設定の変更:「一般設定」内の「ディスプレイ」からディスプレイの「明るさ」が調整できます。

バッテリー寿命と諸注意

バッテリーの寿命は使用される設定を含めさまざな要因に依存するため、正確に予測することができません。カメラがディスプレイ・オフやスリープモードにならないまま長時間アクティブになっている場合には、バッテリーの消耗が通常より非常に早くなります。バッテリーの残量が低下するとディスプレイとビューファインダー上に表示されます。

3.29 温度警告

短時間内により多くのシャッターを切り撮影を行なった場合、カメラが熱を持ちます。周辺温度との相互作用により画像にノイズが現れることがあります。これらの問題を解消するために、カメラの温度が著しく熱くなった際には、カメラのディスプレイに高温警告が表示されます。約 60℃を超えた際に警告が表示され、カメラはクールダウンのために一時的に電源が切れます。

3.30 カメラの保管

注意！
機材をダメージから保護するために、カメラを長期間使用しない場合には、バッテリーをカメラから取り外してください。

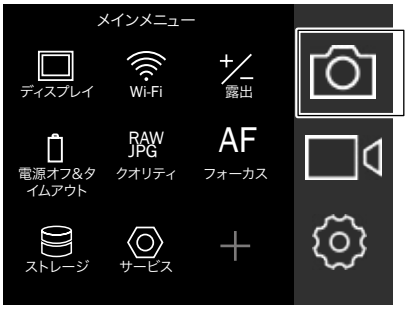
注意！
機材をダメージから保護するために、湿気のある場所を避けてください。カメラが濡れてしまった場合、カメラが完全に乾くまでは電源を断つようにしてください。

注意！
機材をダメージから保護するために、カメラは乾燥した環境下で保管してください。

MAIN MENU
Display
Wi-Fi
Exposure
Power &
Timeouts
RAW
JPG
Quality
AF
Focus
Storage
Service
HASSELBLAD

4.1　カメラ設定メニュー

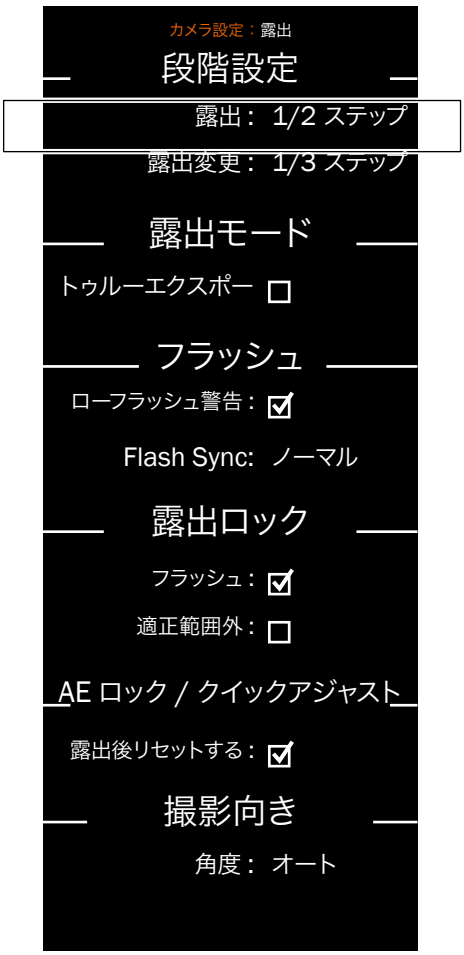
メインメニュー



カメラ設定アイコン

カメラ設定メニュー

露出設定メニュー



メインメニュー > カメラ設定 > 露出

1　タッチディスプレイ上のカメラ設定アイコンをタップします。
2　カメラ設定メニューが表示されます。

右にスワイプまたは、メニューボタンを押すとメインメニューに戻ります。

4.2　カメラの露出設定

メインメニュー > カメラ設定 > 露出 > 段階設定

1　タッチディスプレイ上のカメラ設定アイコンをタップします。
2　カメラ設定メニューが表示されます。
3　露出設定メニューをタップします。

右にスワイプまたは、メニューボタンを押すとメインメニューに戻ります。

段階設定

露出
1、1/2、1/3 での範囲で選択できます。

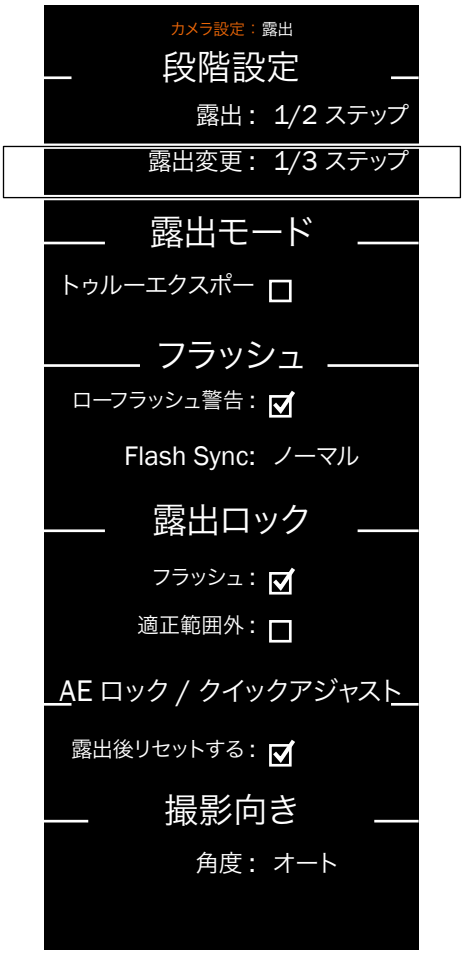
露出変更

メインメニュー > カメラ設定 > 段階設定 > 露出変更

1　タッチディスプレイ上のカメラ設定アイコンをタップします。
2　カメラ設定メニューが表示されます。
3　露出メニューをタップします。
4　段階設定にて露出変更（のステップ）をタップして選びます。

右にスワイプまたは、メニューボタンを押すとメインメニューに戻ります。

露出設定メニュー



段階設定

露出変更
1、1/2、1/3 の範囲で選択できます。

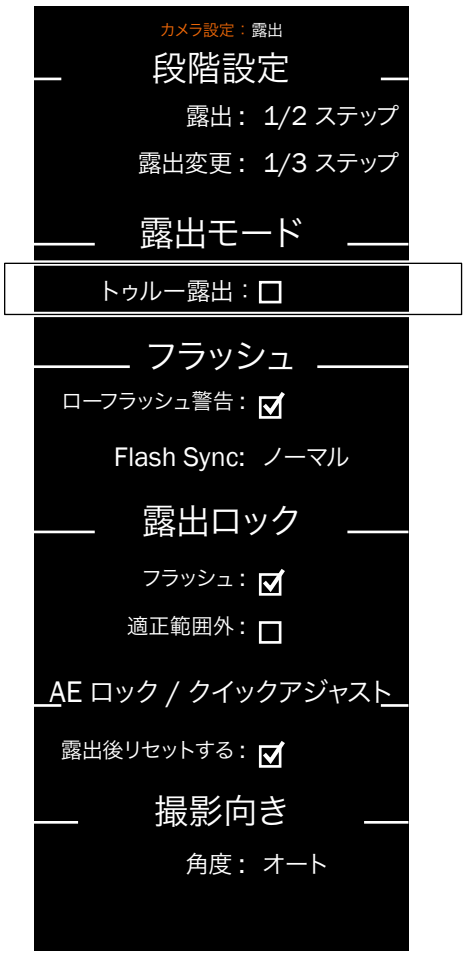
トゥルーエクスポージャー（露出）

メインメニュー ＞ カメラ設定 ＞ 露出 ＞ 露出モード

1　タッチディスプレイ上のカメラ設定アイコンをタップします。
2　カメラ設定メニューが表示されます。
3　露出メニューをタップします。
4　露出モードを選びます。

右にスワイプまたは、メニューボタンを押すとメインメニューに戻ります。

露出設定メニュー



トゥルーエクスポージャー設定

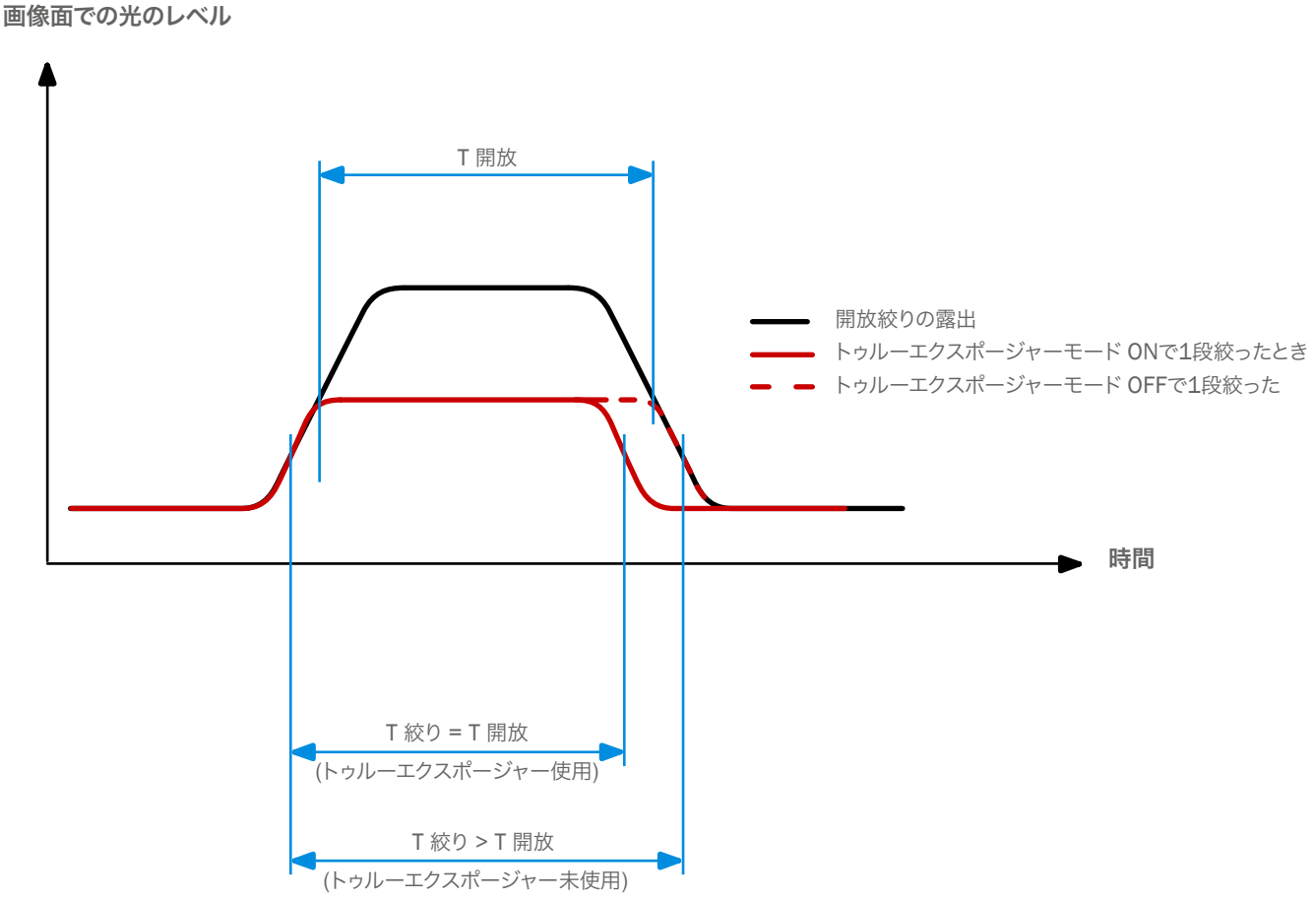
オンまたはオフを選択します。トゥルーエクスポージャーがオンのときはチェックボックスにチェックがつき、オフのときチェックボックスは空になります。

トゥルーエクスポージャー設定は露出が自動的に調整されるかを決定します。オンのときは調整され、オフのときはノーマルな状態を保持します。

注意！
メイン光源にフラッシュ / ストロボを使用し、1/800 秒または 1/1000 秒シャッタースピード（レンズタイプに依存）を使用する場合は、トゥルーエクスポージャーオプションをオフにしてください。

注意！
トゥルーエクスポージャーはシャッタースピードを維持し、絞り値で変更されるよう設計されています。詳しくは次のページへ。

トゥルーエクスポージャー（露出）の解説



トゥルーエクスポージャーはレンズを絞ったとき、シャッタースピードに影響を与えないための HC および HCD レンズに備わる機能です。この機能はフォーカルプレーンシャッターではあまり普及しておらず、レンズシャッター特有の必須効果です。

レンズを絞ったときにシャッタースピードは長くなります。同時に、設定した露出に影響を及ぼします。遅いシャッタースピードの場合、影響は少なく、例えば 1/500 秒などの早いシャッタースピードの際に目に見える形となって影響を及ぼします。

補償は速度を調節することだけで、これは最も早いシャッター速度 1/800 秒を調節する可能性を防ぎます。従って、これを対処するために設定した露出を保持するよう、絞りを開けます。しかしながら、この補償は必ずしも必要ではなく、主光源としてフラッシュストロボを使用するときには露出不足をもたらすので、好ましくありません。従って、主な光源としてフラッシュストロボを使用するときはディスプレイのメインメニュー > カメラ設定 > 露出 > トゥルーエクスポージャーから、トゥルーエクスポージャーを OFF に設定しなければなりません。

さらに詳しい説明が必要な方は、www.hasselblad.com からダウンロードすることができます。

フラッシュ設定

メインメニュー ＞ カメラ設定 ＞ 露出 ＞ フラッシュ

1　タッチディスプレイ上のカメラ設定アイコンを押します。
2　カメラ設定メニューが表示されます。
3　露出メニューをタップします。
4　フラッシュをタップして選びます。

右にスワイプまたは、メニューボタンを押すとメインメニューに戻ります。

重要な情報！
X1D カメラにフラッシュを装着する前に、フラッシュについての章をすべてご覧ください。

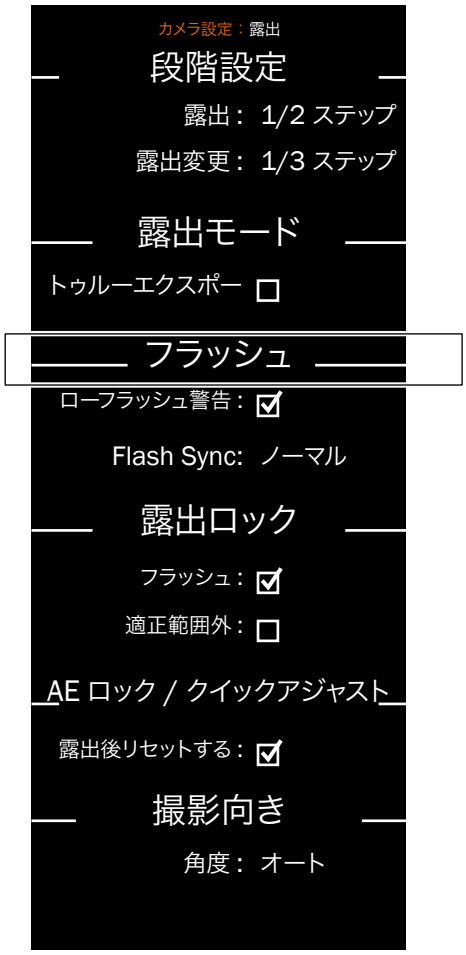
フラッシュ

ローフラッシュ警告
オンまたはオフを選択します。
ローフラッシュ警告がオンのときはチェックボックスにチェックがつき、オフのときはチェックボックスは空になります。

Flash Sync
Flash Sync 設定を選択します。
- ノーマル
- リア

この章はつぎのページへとつづきます。

露出設定メニュー



フラッシュとストロボ設定

X1D カメラは以下の NIKON のフラッシュを TTL モードで使用することができます。

SB-300
SB-500
SB-700
SB-900
SB-910

一般情報

A(絞り優先 AE) または S(シャッター優先 AE) モードでフラッシュを使用すると、カメラの露出条件から屋内撮影でシャッタースピードを遅くせざるをえなくなり、例えば三脚が必要になります。一方、P(プログラム AE) または Pv(プログラム可変 AE) モードの場合、シャッタースピードは自動的に最長でも 1/60 に設定されて手持ち撮影が可能になります。

接写撮影でフラッシュを使用したり、絞りを大きく開いたりすると、フラッシュユニットの発光持続時間が最小の場合でも、発光量が大きすぎる事がありますので、注意してください。これらの制約の詳細については、フラッシュの発光量の仕様をご覧ください。

リアシンクロは、撮影効果を狙った有用な機能で、長時間露光された光の流れをフラッシュと組み合わせて露光が終わる直前のタイミングで発光させることで、自然な表現が可能になります。

フラッシュ出力とカメラの露出条件のバランスを変えて様々な効果を得るには、露出補正機能を使います。長時間露光の効果を生かすには、シンクロ機能を使います。フラッシュ露出テストを行なうには、フラッシュメーター機能を使います。

注意及び警告!
前述したリストの NIKON フラッシュユニット、X1D 用につくられたユニット、または NIKON の互換性のあるユニットのみカメラのホットシューに接続します。

注意!
別ブランドのカメラ用のフラッシュユニットを X1D のホットシューに接続しないでください。フラッシュユニットやカメラが損傷するおそれがあります。

注意!
フラッシュまたはストロボを主光源として 1/800 のシャッタースピードまたはより早いシャッタースピードで使用する場合は、トゥルー露出をオフにしてください。

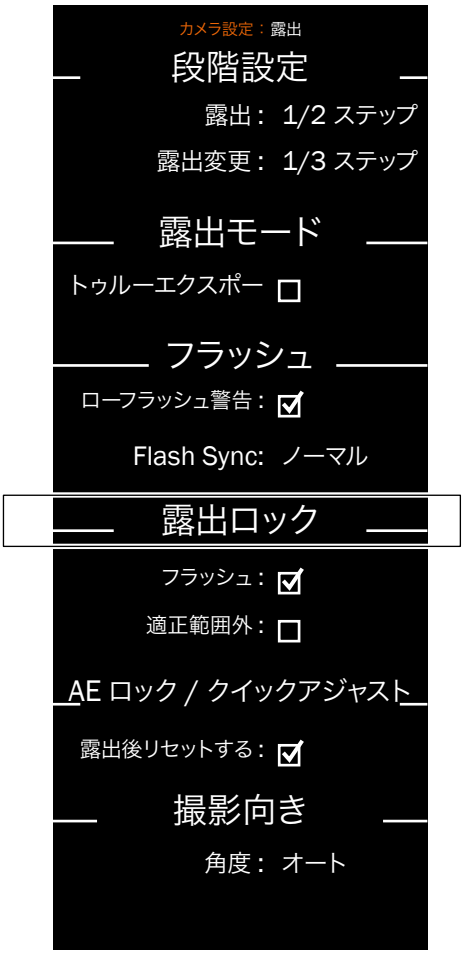
露出ロック

メインメニュー ＞ カメラ設定 ＞ 露出 ＞ 露出ロック

1　タッチディスプレイ上のカメラ設定アイコンをタップします。
2　カメラ設定メニューが表示されます。
3　露出メニューをタップします。
4　露出ロックまでスクロールします。

右にスワイプまたは、メニューボタンを押すとメインメニューに戻ります。

露出設定メニュー



露出ロック

フラッシュ
オンまたはオフを選択します。フラッシュがオンのときはチェックボックスにチェックがつき、オフのときはチェックボックスは空になります。フラッシュが発光する準備ができていない場合に、露出がブロックされるかどうかを制御します。

適正範囲外
オンまたはオフを選択します。適正範囲外がオンのときはチェックボックスにチェックがつき、オフのときはチェックボックスは空になります。絞りまたはシャッタースピードが範囲外の場合に、露出がブロックされるかどうかを制御します。

AE-L (AE ロック) / クイックアジャスト

メインメニュー ＞ カメラ設定 ＞ 露出 ＞ AE ロック / クイックアジャスト

1　タッチディスプレイ上のカメラ設定アイコンをタップします。
2　カメラ設定メニューが表示されます。
3　露出メニューをタップします。
4　AE ロック / クイックアジャストまでスクロールします。

右にスワイプまたは、メニューボタンを押すとメインメニューに戻ります。

AE ロック / クイックアジャスト

露出後リセットする
オンまたはオフを選択します。適正範囲外がオンのときはチェックボックスにチェックがつき、オフのときはチェックボックスは空になります。

露出調整または AE ロック状態が露光後リセットされるかどうかを制御します。

露出設定メニュー

撮影向き

メインメニュー > カメラ設定 > 露出 > 撮影向き

1　タッチディスプレイ上のカメラ設定アイコンをタップします。
2　カメラ設定メニューが表示されます。
3　露出メニューをタップします。
4　撮影向きを選びます。

右にスワイプまたは、メニューボタンを押すとメインメニューに戻ります。

露出設定メニュー

撮影向き

Phocus での表示方向を設定します。カメラを真上や真下に向けている場合、意図しない向きの変更を避けるために、方向設定をロックすることができます。

角度設定

オート
0 度
90 度
180 度
270 度

4.3　画質設定

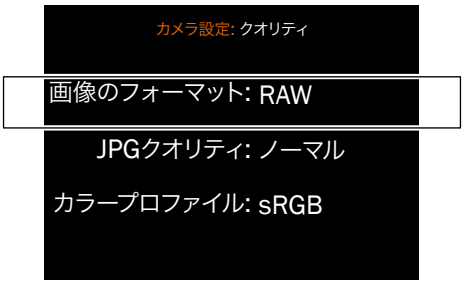
メインメニュー > カメラ設定 > クオリティ

1　タッチディスプレイ上のカメラ設定アイコンをタップします。
2　カメラ設定メニューが表示されます。
3　クオリティを選びます。

右にスワイプまたは、メニューボタンを押すとメインメニューに戻ります。

カメラ設定メニュー

クオリティ設定メニュー



クオリティ設定メニューの内容

画像のフォーマット
- RAW
- RAW + JPG

JPG クオリティ
- フル
- ノーマル

カラープロファイル
- sRGB
- Adobe RGB

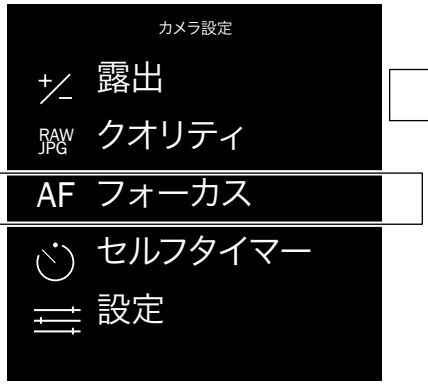
4.4　カメラのフォーカス設定

メインメニュー > カメラ設定 > 露出 > フォーカス

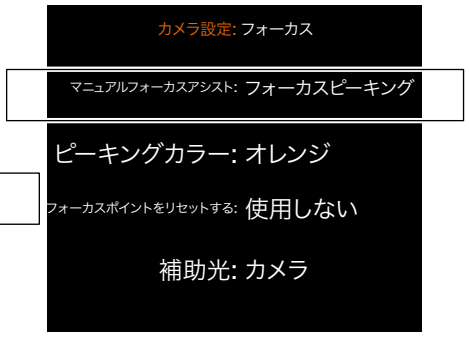
1　タッチディスプレイ上のカメラアイコンをタップします。
2　カメラ設定メニューが表示されます。
3　フォーカスを選びます。

右にスワイプまたは、メニューボタンを押すとメインメニューに戻ります。

カメラ設定メニュー



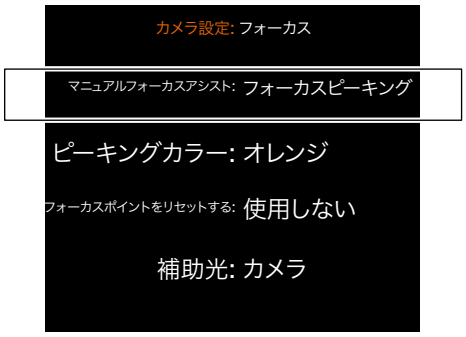
フォーカス設定メニュー



フォーカス設定メニューの内容

MF アシスト
マニュアルフォーカスのアシストは次から選びます。
- フォーカスピーキング
- オートズーム
- 設定なし

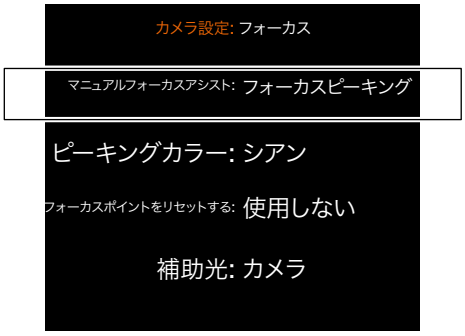
フォーカス設定メニュー



MF アシスト画面

ピーキングカラー
ピーキングカラーを選びます。
- オレンジ
- イエロー
- シアン
- マゼンタ

フォーカス設定メニュー



ピーキングカラー画面

フォーカスポイントリセット
これら 2 つの設定のいずれかを選択します。
- 露出後
- 使用しない

オートフォーカスポイントは、露出ごとに中心位置にリセットすることができます。任意に選択した位置にとどめるためにはオートフォーカスポイントを [使用しない] に選択します。

詳細は、「オートフォーカスポイントを移動する」を参照してください。

補助光
オートフォーカス補助光
- カメラ
- オフ

4.5　カメラのセルフタイマー設定

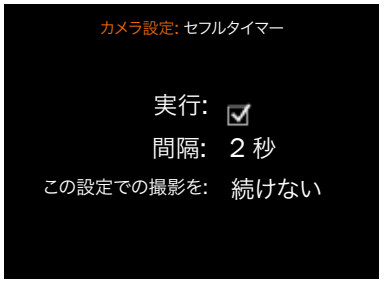
メインメニュー ＞ カメラ設定 ＞ 露出 ＞ セルフタイマー

1　タッチディスプレイ上のカメラ設定アイコンをタップします。
2　カメラ設定メニューが表示されます。
3　セルフタイマーをタップして選びます。

右にスワイプまたは、メニューボタンを押すとメインメニューに戻ります。

カメラ設定メニュー

セルフタイマー設定メニュー



セルフタイマー設定メニュー

実行
オンまたはオフを選択します。

実行がオンのときはチェックボックスにチェックがつき、オフのときはチェックボックスは空になります。

間隔
2、3、4、5 秒というように、1 秒から 60 秒までの間隔です。

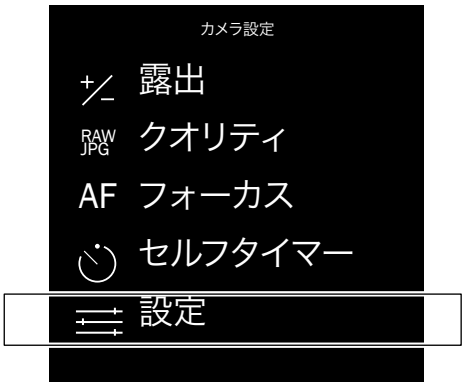
4.6　カメラ設定

メインメニュー > カメラ設定 > 設定

1　タッチディスプレイ上のカメラ設定アイコンをタップします。
2　カメラ設定メニューが表示されます。
3　設定メニューを選びます。

右にスワイプまたは、メニューボタンを押すとメインメニューに戻ります。

カメラ設定メニュー



設定メニュー

露出のクイックアジャスト

オンまたはオフ。露出調整や AE ロックの表示が露出でリセットされたりされなかったりするときのコントロールをします。

オンのときはチェックボックスにチェックがつき、オフのときはチェックボックスは空になります。

オート ISO の限界

オート ISO モードのとき、ISO の限界値を選びます。最低を ISO800、最大を ISO6400 で選ぶとそれ以下にもそれ以上にも行きません。

最大

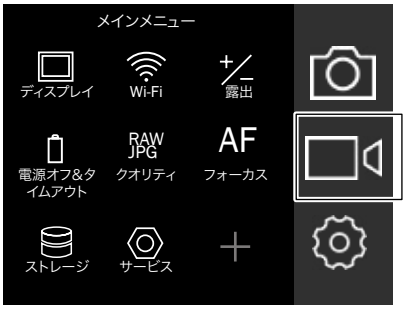
200, 400, 800, 1600, 3200, 6400, 12k8, 25k6.

最小

100, 200, 400, 800, 1600, 3200, 6400, 12k8.

4.7　動画設定メニュー

メインメニュー



動画設定のアイコン

動画設定メニュー

動画クオリティ設定

メインメニュー > 動画設定

1　タッチディスプレイ上の動画設定アイコンをタップします。
2　動画設定メニューが表示されます。
3　動画設定メニューを選びます。

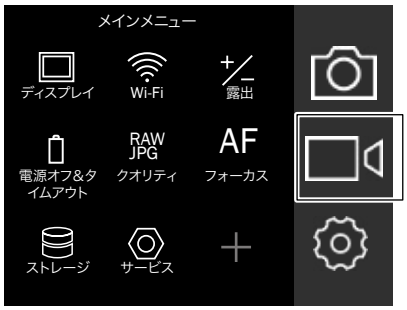
右にスワイプまたは、メニューボタンを押すとメインメニューに戻ります。

動画設定

解像度
動画の解像度の設定は 1080p または 720p です。

4.8　一般設定メニュー

メインメニュー



一般設定のアイコン

一般設定メニュー

Wi-Fi設定メニュー

メインメニュー > 一般設定

1　タッチディスプレイ上の一般設定アイコンをタップします。
2　一般設定のメニューが表示されます。

右にスワイプまたは、メニューボタンを押すとメインメニューに戻ります。

4.9　一般設定：WI-FI

Wi-Fi モードは Apple の iPhone、iPad、iPod にハッセルブラッド Phocus Mobile アプリケーションをインストールし、カメラとパソコンをつないだテザー撮影と同じような機能を可能にします。

メインメニュー > 一般設定 > Wi-Fi

1　メニューをタップします。
2　タッチディスプレイ上のメインメニューで一般設定をタップして選びます。
3　Wi-Fi をタップして選びます。
4　設定：
　　オンまたはオフ
　　Wi-Fi：2.4 GHz

注意！
日本では 2.4GHz 帯の Wi-Fi が許可されています。

Wi-Fi モード

Wi-Fi 機能は直接アクセスできるモードです。

カメラ側で（新しい Wi-Fi ネットワークを作成し）Wi-Fi をオンにして iPhone/iPad/iPod と接続します。

ネットワークの名前にはカメラのシリアル番号が含まれます。

例）「SQ34000123」

注意！
Wi-Fi を 10 分以上使用しないでいると自動的にオフになり電源をセーブします。

4.10 一般設定:ディスプレイ

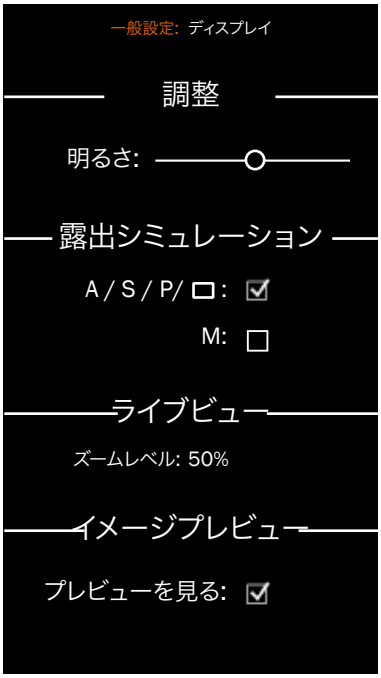
メインメニュー > 一般設定 > ディスプレイ

1　タッチディスプレイ上の一般設定のアイコンをタップします。
2　一般設定が表示されます。
3　ディスプレイを選びます。

右にスワイプまたは、メニューボタンを押すとメインメニューに戻ります。

一般設定メニュー

ディスプレイメニュー



ディスプレイのメニュー設定

明るさの調整
左または右にスライドして明るさを変更します。 右へスタイドすると明るく、左へスライドすると暗くなります。

露出シミュレーション
撮影モード A/S/P/ ▭ のオンまたはオフを選びます。撮影モード M のオンまたはオフを選びます。オンのときはチェックボックスにチェックがつき、オフのときはチェックボックスは空になります。

ライブビュー
ズームのレベルを 50% または 100%から選びます。

プレビューをみる
オンまたはオフを選びます。撮影後に画面上にプレビューが表示されます。オンのときはチェックボックスにチェックがつき、オフのときはチェックボックスは空になります。

露出シミュレーション

ライブビューモードでは、露出シミュレーションは、選択した露出設定（絞り、シャッター、ISO）の効果と、これらの設定が写真をどのように変更するかを表示します。これは、最終的に撮影された写真がどのように見えるかの近似値です。たとえば、マニュアル露出モード（M）で小さい絞りを選択すると、ライブビューは、より暗いイメージを表示します。より開放絞りを選択すると、ライブビューには明るい画像が表示されます。A、S、P 露光モードのとき、「露出シミュレーション」を使用して、撮影する前に露出調整の効果を確認できます。一例として、+1.0 ステップのクイック調整では、明らかに明るい写真の露出になります。

注意！
フラッシュでカメラを使用すると、露出シミュレーションは正しい結果を表示しません。たとえば、絞りとシャッタースピードを屋内の懐中電灯に合わせるように設定した場合、通常、露出シミュレーションでは、ライブビューモードでは暗すぎる画像が表示されます。フラッシュで撮影する前に、露出シミュレーションをオフにすることをおすすめします。

注意！
露出シミュレーションがアクティブで、露出設定が実際の明るい条件に対して非常に高い露出オーバーまたは非常に低い露出不足に設定されている場合、ライブビューは非常に明るいまたは非常に暗い画像を表示します。極端な場合には、完全に白とびした画像、または完全に露出不足の黒い画像となります。これらの場合、ライブビューモードでは、露出の設定を調整しながら、希望の露出を維持するためにバランススケールを使用することができます。

注意！
これらの場合、ライブビューモードでは、露出の設定を調整しながら、希望の露出を維持するためにバランススケールを使用することができます。オートフォーカスが完了すると、露出シミュレーションは自動的に再開されます。

4.11 一般設定:カスタムモード

メインメニュー ＞ 一般設定 ＞ カスタムモード

1　タッチディスプレイ上の一般設定アイコンをタップします。
2　一般設定のメニューが表示されます。
3　カスタムモードを選びます。

右にスワイプまたは、メニューボタンを押すとメインメニューに戻ります。

カスタムモードメニューの設定

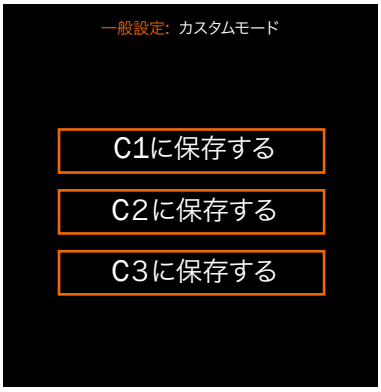
C1、C2、C3 の保存方法

1　カスタムモード 1 に保存するために C1 を選びます。
2　「C1 に保存する?」のポップアップダイアログが表示されます。
3　「保存する」を選び C1 プログラムに保存設定するか「戻る」を押して保存設定しないで戻ります。

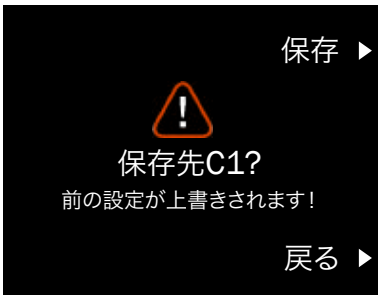
注意！
以前の設定はすべて上書きされます。

一般設定メニュー

カスタムモードメニュー



カスタムモードメニュー「C 1 に保存」



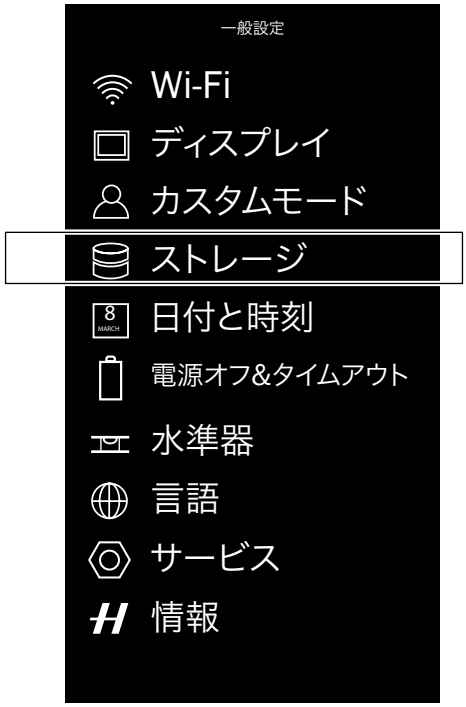
4.12 一般設定:ストレージ

メインメニュー ＞ 一般設定 ＞ ストレージ

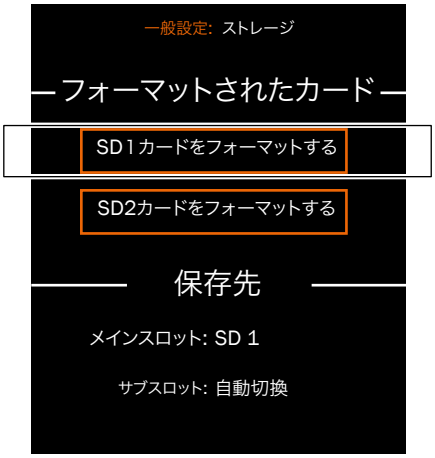
1　タッチディスプレイ上の一般設定アイコンをタップします。
2　一般設定メニューが表示されます。
3　一般設定のストレージアイコンをタップします。

右にスワイプまたは、メニューボタンを押すとメインメニューに戻ります。

一般設定メニュー



ストレージメニュー



ストレージメニューの設定

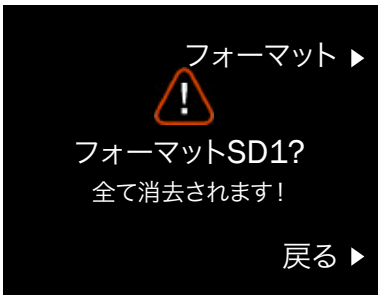
カードのフォーマット
- SD 1 カードをフォーマットする
- SD 2 カードをフォーマットする

画像の保存先
- 第 1 スロット：SD1 または SD2
- 第 2 スロットの使用

カードのフォーマット方法

1　ストレージメニューでフォーマットするカード SD 1 または SD 2 を選びます。
2　新しいフォーマットカードダイアログが表示されます。
3　四角が表示された表示切り替えボタンを押して「フォーマット」をします。
4　フォーマットしないで戻るには戻る」を選びます。

カードフォーマット時の画面



画像、動画の保存場所

メインメニュー ＞ 一般設定 ＞ ストレージ ＞ 保存先

保存先の設定

1　タッチディスプレイ上の一般設定アイコンをタップします。
2　一般設定のメニューが表示されます。
3　ストレージアイコンをタップします。
4　保存先を選びます。

右にスワイプまたは、メニューボタンを押すとメインメニューに戻ります。

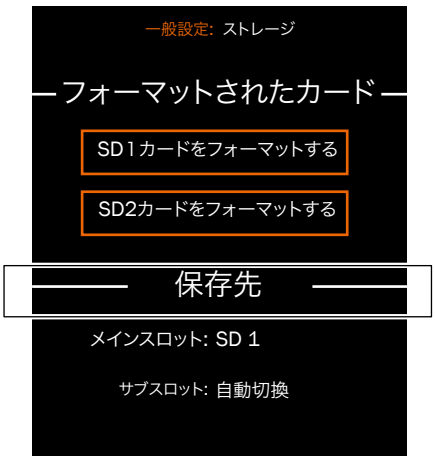
画像の保存先

- メインスロット：SD 1 または SD 2
- サブスロットの使用：
  - 設定なし
  - 自動切換

自動切換を選ぶとメインスロットのメモリーがいっぱいになったとき、サブスロットに自動的に切り換ります。

一般設定メニュー

ストレージメニュー



4.13 一般設定:日付と時間

メインメニュー ＞ 一般設定 ＞ 日付と時間

1　タッチディスプレイ上の一般設定アイコンをタップします。
2　一般設定メニューが表示されます。
3　日付と時間アイコンをタップします。

右にスワイプまたは、メニューボタンを押すとメインメニューに戻ります。

一般設定メニュー

日付と時刻メニュー

日付と時間メニューの設定

日付
ポップアップメニューで年、月、日を変更して日付を設定します。

時間
ポップアップメニューを変更して時間を設定します。

4.14 一般設定：電源オフ&タイムアウト

メインメニュー ＞ 一般設定 ＞ 電源オフ&タイムアウト

X1D のカメラはバッテリーをセーブするためなどの理由で自動的にタッチディスプレイまたは電源がオフになるよう設定できます。

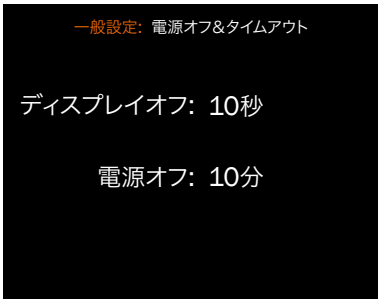
ディスプレイまたは電源オフの変更

1　タッチディスプレイ上の一般設定アイコンをタップします。
2　一般設定のメニューが表示されます。
3　電源オフ&タイムアウトのアイコンをタップします。
4　数字をタップして時間を調整します。

右にスワイプまたは、メニューボタンを押すとメインメニューに戻ります。

一般設定メニュー

電源オフ&タイムアウトメニュー



電源オフ&タイムアウトメニュー

ディスプレイオフ
ディスプレーオフを選びます。
- 3 秒
- 5 秒
- 10 秒
- 20 秒
- 30 秒
- 60 秒
- 使用しない

電源オフ
パワーオフを選びます。
- 5 分
- 10 分
- 30 分
- 使用しない

4.15 一般設定:水準器

メインメニュー > 一般設定 > 水準器

カメラには水準器が備わっています。カメラの水平 (A) と垂直 (B) の傾きを図ることができます。

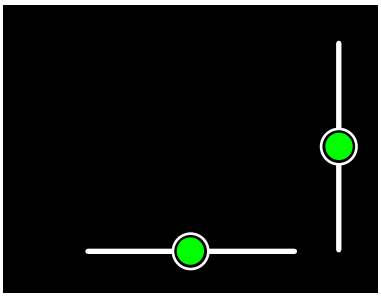
カメラの水準器の使用方法

1 タッチディスプレイ上の一般設定アイコンをタップします。
2 一般設定メニューが表示されます。
3 水準器アイコンを選びます。
4 白い丸が円の中に入り緑に変わるまで左・右、上・下のカメラの傾きを調整します。

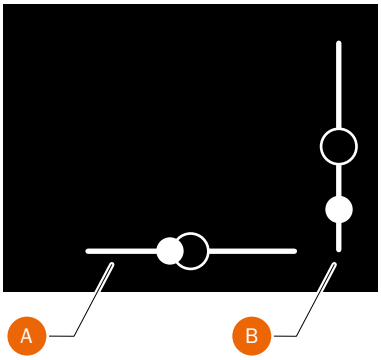
右にスワイプまたは、メニューボタンを押すとメインメニューに戻ります。

一般設定メニュー

カメラの位置が合ったときの水準器



カメラが右下に傾いている状態の水準器



カメラが左に傾いている

カメラの水平垂直位置が合っている

カメラが右に傾いている

カメラが上に傾いている

カメラの垂直位置が合っている

カメラが下に傾いている

水準器のキャリブレーション

メインメニュー > 一般設定 > 水準器

水準器は出荷時設定またはユーザーモードに設定できます。ユーザーモードでは水準器はユーザーによって調整することができます。工場出荷モードでは工場で使用しているキャリブレーションとなります。

工場設定のファクトリーモード

ユーザー設定のユーザーモード

水準器のキャリブレート方法

1　タッチディスプレイ上の一般設定をタップします。
2　一般設定のメニューが表示されます。
3　水準器アイコンを選びます。
4　左上の角にあるアイコン (A) をタップします。
5　水準器の画面が表示されます。
6　水平と垂直を慎重に設定します。
7　キャリブレート (B) をタップします。
8　2 つの白い丸が中心位置に動きます。中心にくると緑に変わります。

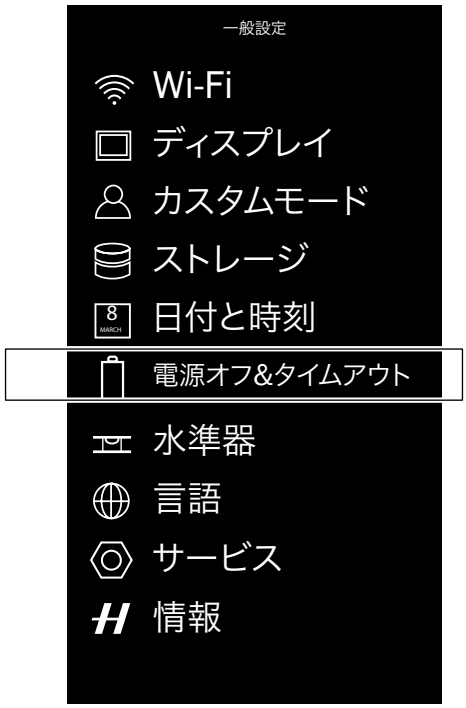
右にスワイプまたは、メニューボタンを押すとメインメニューに戻ります。

工場出荷モードへのリセット方法

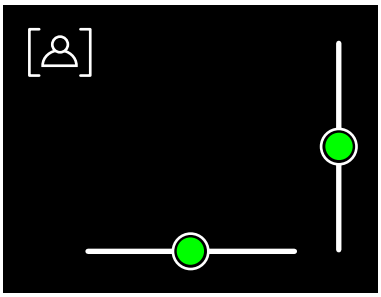
1　タッチディスプレイ上の一般設定アイコンをタップします。
2　一般設定のメニューが表示されます。
3　水準器アイコンを選びます。
4　左上の角 (A) のアイコンをタップします。
5　水準器の画面が表示されます。
6　工場設定アイコン (C) をタップします。
7　工場設定アイコン (D) が表示され、水準器が工場キャリブレーション設定にリセットされます。

右にスワイプまたは、メニューボタンを押すとメインメニューに戻ります。

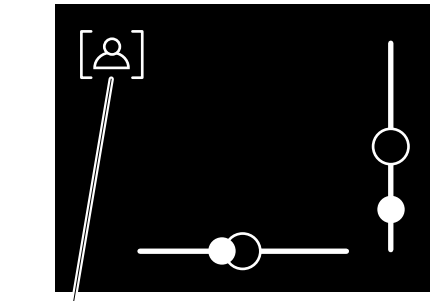
一般設定メニュー



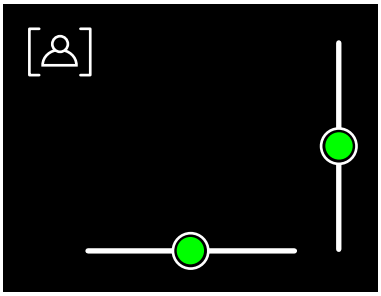
カメラの位置が合ったときの水準器

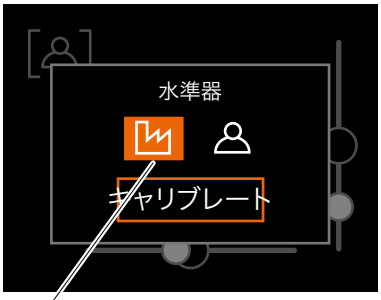


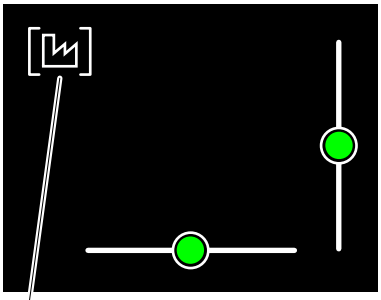
カメラが右下に傾いている状態の水準器



ユーザーによるキャリブレートされた水準器







4.16 一般設定：言語

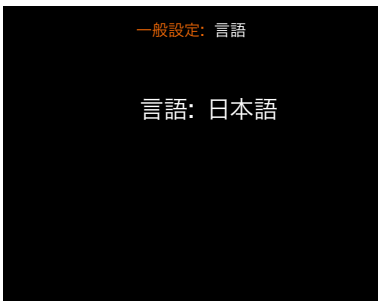
メインメニュー > 一般設定 > 言語

1　タッチディスプレイ上の一般設定アイコンをタップします。
2　一般設定のメニューが表示されます。
3　言語アイコンをタップして選びます。

右にスワイプするかメニューまたは戻るボタンを押してメインメニューに戻ります。

一般設定メニュー

言語メニュー



選択できる言語：
英語
スペイン語
フランス語
ドイツ語
イタリア語
ロシア語
中国語
日本語
韓国語

言語の変更方法
1　タッチディスプレイ上の一般設定アイコンをタップします。
2　一般設定のメニューが表示されます。
3　言語に進みます。
4　言語を選びます。
5　ポップアップ画面の外をタップしてポップアップメニューを閉じます。

注意！
カメラの言語が不明な言語に設定されるとつぎの設定がわからなくなる場合があります。

4.17 一般設定:サービス

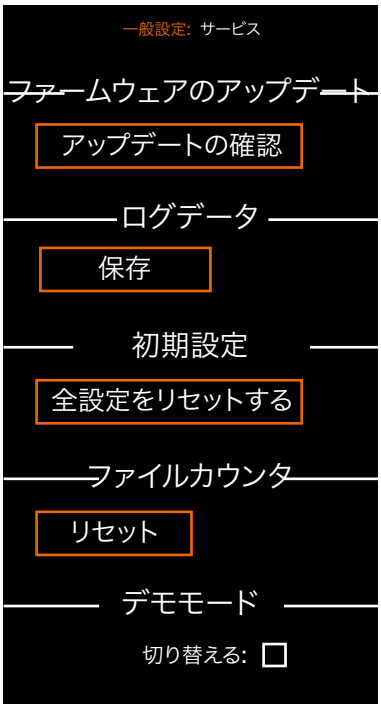
メインメニュー > 一般設定 > サービス

1　タッチディスプレイ上の一般設定アイコンをタップします。
2　一般設定のメニューが表示されます。
3　サービスアイコンをタップして選びます。

右にスワイプまたは、メニューボタンを押すとメインメニューに戻ります。

一般設定メニュー

サービスメニュー



サービスメニュー設定

ファームウェアのアップデート
アップデートを確認する

ログデータ
修理のためのログデータを保存する

初期設定
全設定をリセットする

ファイルカウンタ
リセットする

デモモード
切り換える

注意！
デモモードはデモンストレーション目的でのみ使用する設定です。

注意！
デモモードの切り替えはカメラが再起動するまでのみ有効です。

注意！
デモモードにおいて X1D カメラは標準モードより熱を発します。SD カードの代わりに一時的にカメラのメモリーに保存されるため、省エネ機能が作動せず起こる現象です。

4.18 X1Dカメラファームウェアの更新

メインメニュー ＞ 一般設定 ＞ アップデートの確認

1 タッチディスプレイ上の一般設定アイコンをタップします。
2 一般設定のメニューが表示されます。
3 サービスアイコンをタップして選びます。
4 アップデートの確認ボタンをタップして選びます。
5 カメラが挿入されたメモリーカードのアップデートファイルを確認します。

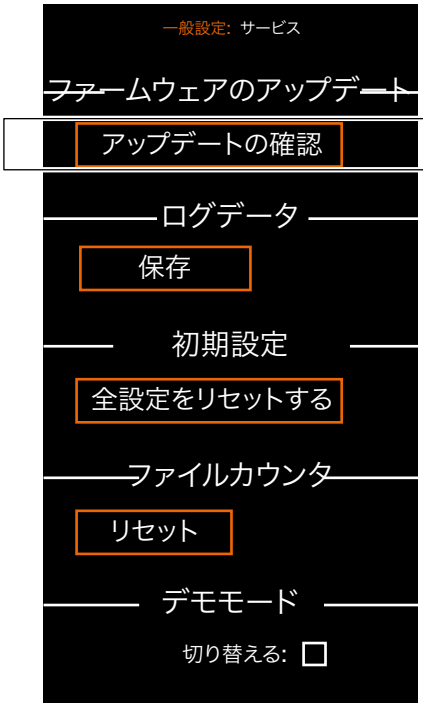
右にスワイプまたは、メニューボタンを押すとメインメニューに戻ります。

X1Dファームウェアの更新方法

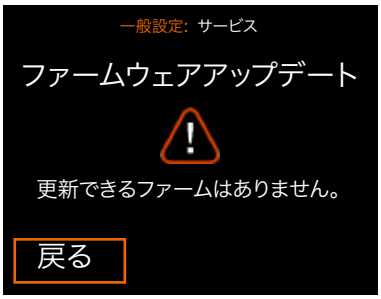
1 www.hasselblad.com/jp より X1D の最新ファームウェアをダウンロードします。
2 SD カードにファームウェアを保存します。
3 X1D カメラに SD カードを挿入します。
4 メインメニューから一般設定を選びます。
5 サービス>ファームウェアの更新>アップデートの確認を選びます。
6 ファームウェアのファイル名と番号がダウンロードした最新であることを確認してください。
7 アップデートを選びます。
8 アップデート画面のアップデートを選び、X1D ファームウェアの更新を開始します。
9 アップデート中は「アップデートを実行中です」が X1D カメラのディスプレイに表示されます。
10 アップデートが行われている最終は X1D のカメラの電源を切らないでください。
11 アップデートには数分かかります。
12 アップデートが終了すると「アップデートが終了しました。バッテリーを取りはずし、入れ直してください。」と表示されます。
13 バッテリーを抜き差しします。
14 X1D カメラの電源を入れます。
15 X1D の新しいファームウェアがインストールされました。

一般設定メニュー

サービスメニュー



アップデートの確認

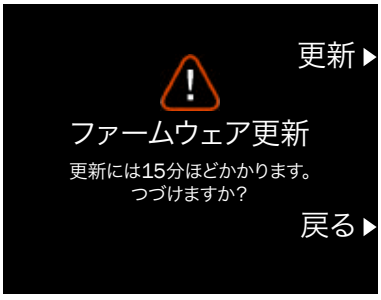


アップデートするファームウェアがないときの画面

ファームウェアのアップデート

アップデートできるファームウェアが2つある場合の画面

アップデート画面



ファームウェアアップデートの確認画面でアップデートを押して実施します。更新には15分くらいかかります。しない場合は戻るを押します。

4.19 XCDレンズ ファームウェアの更新

メインメニュー>一般設定>サービス>アップデートの確認

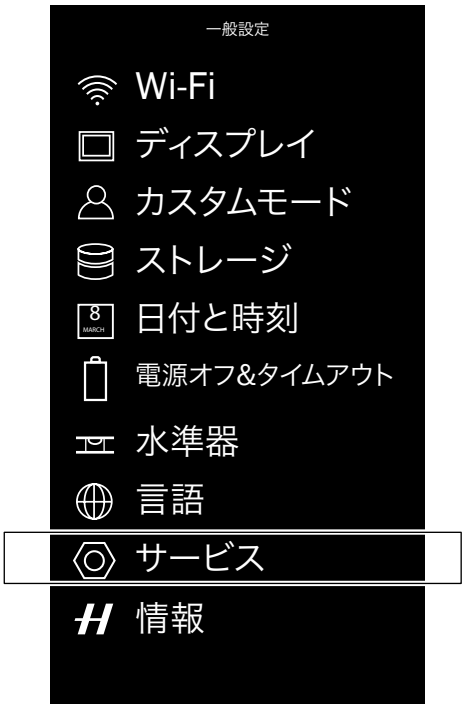
1　タッチディスプレイ上の一般設定アイコンをタップします。
2　一般設定のメニューが表示されます。
1　サービスアイコンをタップして選びます。
2　ファームウェアのアップデートの下のアップデートを確認をタップします。
3　カメラがアップデートするファイルを挿入されたメモリーカードでチェックします。

右にスワイプするかメニュー / 戻るボタンを押してメインメニューに戻ります。

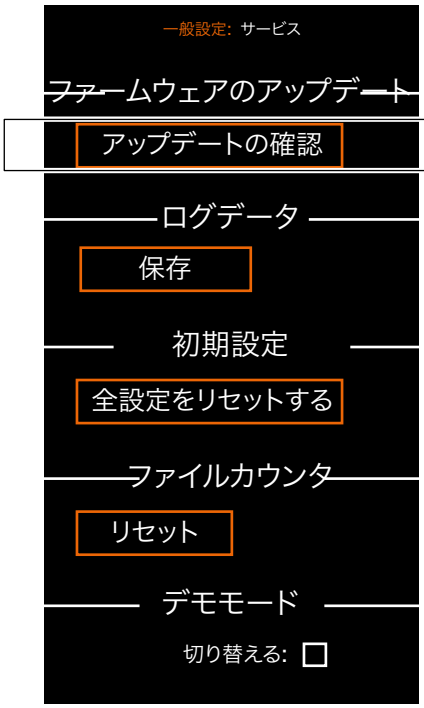
レンズファームウェアの更新方法

1　X1D カメラにレンズを装着します。
2　www.hasselblad.com/jp より XCD レンズの最新ファームウェアをダウンロードします。
3　SD カードにファームウェアを保存します。
4　X1D カメラに SD カードを挿入します。
5　メインメニューから一般設定を選びます。
6　サービス>ファームウェアの更新>アップデートの確認を選びます。
7　ファームウェアのファイル名と番号がダウンロードした最新であることを確認してください。
8　アップデートを選びます。
9　アップデート画面のアップデートを選び、XCD ファームウェアの更新を開始します。
10 アップデート中は「アップデートを実行中です」が X1D カメラのディスプレイに表示されます。
11 アップデートが行われている最終は X1D のカメラの電源を切らないでください。
12 アップデートには数分かかります。
13 アップデートが終了すると「アップデートが終了しました。バッテリーを取りはずし、入れ直してください。」と表示されますので抜き差ししてください。
14 X1D カメラの電源を入れます。
15 XCD レンズの新しいファームウェアがインストールされました。

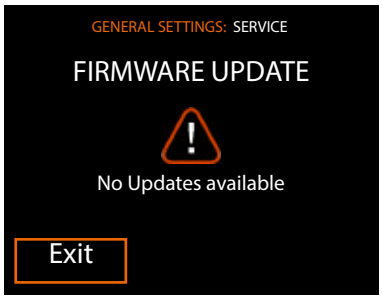
一般設定メニュー



サービスメニュー

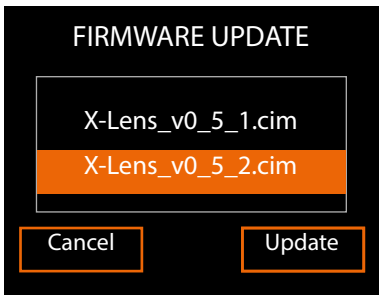


アップデートの確認



アップデートするファームウェアがないときの画面

ファームウェアのアップデート



アップデートできるファームウェアが2つある場合の画面

アップデート画面

ファームウェアアップデートの確認画面でアップデートを押して実施します。更新には15分くらいかかります。しない場合は戻るを押します。

4.20 一般設定:ログデータの保存

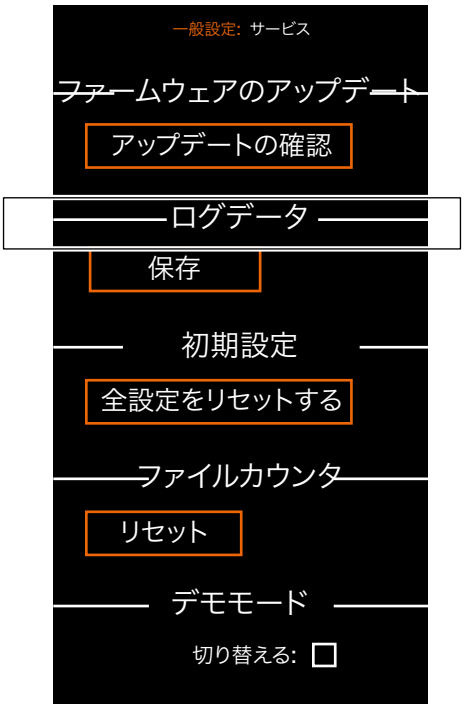
メインメニュー > 一般設定 > サービス > ログデータ

1　タッチディスプレイ上の一般設定アイコンをタップします。
2　一般設定のメニューが表示されます。
3　サービスアイコンをタップして選びます。
4　ログデータの下の保存を選びます。

右にスワイプまたは、メニューボタンを押すとメインメニューに戻ります。

一般設定メニュー

サービスメニュー



ログデータの保存方法:

1　メインメニューをタップします。
2　一般設定に進みます。
3　サービスに進みます。
4　ログデータに進みます。
5　保存をタップします。
6　SD カード 1 または 2 にログデータを保存します。
7　メニューボタンを押して戻ります。

4.21 一般設定：初期設定

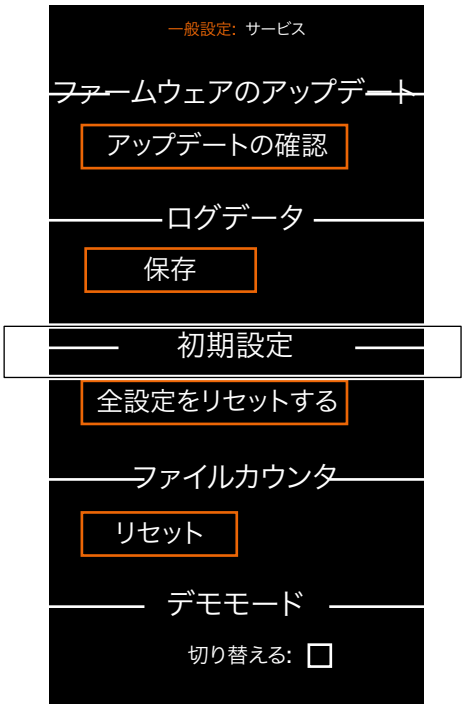
メインメニュー > 一般設定 > サービズ > 初期設定

1　タッチディスプレイ上の一般設定アイコンをタップします。
2　一般設定のメニューが表示されます。
3　サービスアイコンをタップして選びます。
4　初期設定の下の全設定をリセットするを選びます。

右にスワイプするかメニュー / 戻るボタンを押してメインメニューに戻ります。

一般設定メニュー

サービスメニュー



全設定のリセット方法：

1　メニューをタップします。
2　一般設定に進みます。
3　サービスに進みます。
4　「全設定をリセットする」をタップします。
5　「全設定をリセットする」の確認画面が表示されます。
6　すべての設定をリセットするためにリセットを選びます。
7　確認後、カスタムモード C1、C2、C3 を含むすべての設定は初期化されます。

注意！
リセットしない場合は戻るを選びます。

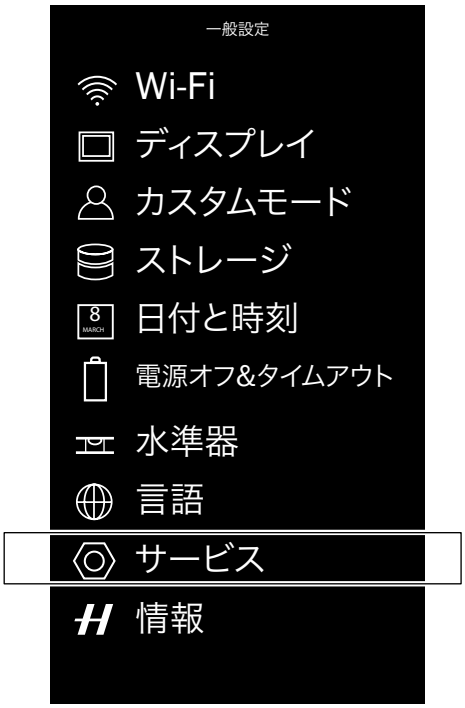
5　全設定をリセットする画面

メインメニュー ＞ 一般設定 ＞ サービス ＞ ファイルカウンタ

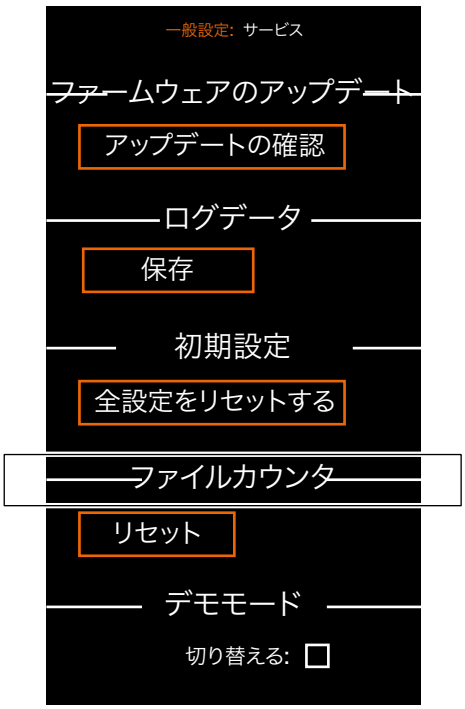
1　タッチディスプレイ上の一般設定をタップします。
2　一般設定のメニューが表示されます。
3　サービスアイコンをタップして選びます。
4　フィアルカウンタの下のリセットをタップします。

右にスワイプまたは、メニューボタンを押すとメインメニューに戻ります。

一般設定メニュー



サービスメニュー



ファイルカウンタのリセット方法：

1　メニューをタップします。
2　一般設定に進みます。
3　サービスに進みます。
4　確認のためファイルカウンターのリセット画面が表示されます。
5　OK をタップします。
6　確認後、ファイルカウンタがリセットされつぎの撮影（または動画記録）では B00000001 にカウントされます。
7　リセット時にメモリーカードの現在のフォルダーが空でない場合は新しいフォルダーがメモリーカードに作られます。これは撮影した画像の番号が同じに番号になる可能性を避けるために行われます。

注意！
新しいフォルダーは挿入された有効な SD メモリーカードに画像が存在している場合に作られます。

4　ファイルカウンターリセットの画面

4.22 一般設定:デモモード

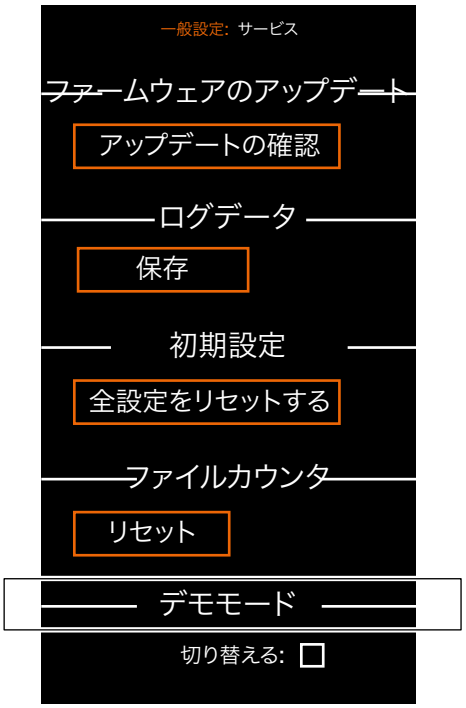
メインメニュー ＞ 一般設定 ＞ サービス ＞ デモモード

1 タッチディスプレイ上の一般設定アイコンをタップします。
2 一般設定のメニューが表示されます。
3 サービスアイコンをタップして選びます。
4 デモモードの下にあるチェックボックスを選びます。

右にスワイプまたは、メニューボタンを押すとメインメニューに戻ります。

一般設定メニュー

サービスメニュー



デモモードの切り替え方法:
1 チェックボックスを選びます。
2 確認画面が表示されます。
3 切り替えるを選びます。
4 オンのときはチェックボックスにチェックがつき、オフのときはチェックボックスは空になります。

注意!
デモモードはデモンストレーション目的でのみ使用する設定です。

注意!
デモモードの切り替えはカメラが再起動するまでのみ有効です。

注意!
デモモードにおいて X1D カメラは標準モードより熱を発します。SD カードの代わりに一時的にカメラのメモリーに保存されるため、省エネ機能が作動せず起こる現象です。

4.23 一般設定：情報

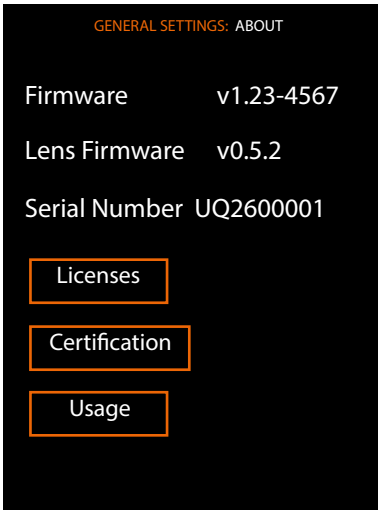
メインメニュー ＞ 一般設定 ＞情報

1　タッチディスプレイ上の一般設定アイコンを押します。
2　一般設定のメニューが表示されます。
3　情報をタップして選びます。

右にスワイプまたは、メニューボタンを押すとメインメニューに戻ります。

一般設定メニュー

情報メニュー



情報メニューの設定

ファームウェア
情報メニューでは現在のファームウェアが最新かどうかを確認することができます。最新のファームウェアはハッセルブラッドのウェブサイトよりダウンロードすることができます。

レンズのファームウェア
情報のメニューではレンズのファームウェア (v0.5.2) が表示されます。

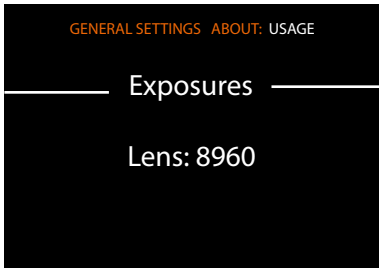
シリアル番号
シリアル番号が表示されます。ハッセルブラッドのサポートでは、問題を解決する際に必要となります。

ライセンス
ライセンスが表示されます。

認証
認証が表示されます。

使用量
現在の装着されたレンズの撮影回数が表示されます。例では 8960 回と右側に表示されています。

レンズの撮影回数情報



4.24 一般設定:情報 認証

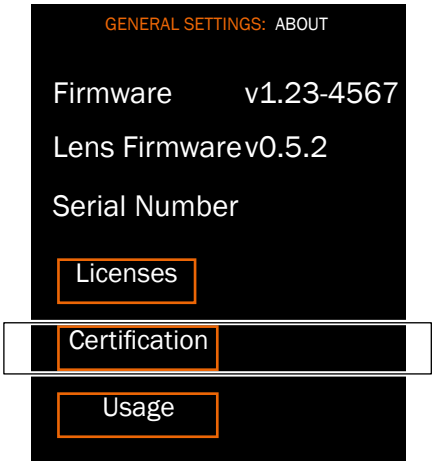
メインメニュー > 一般設定 > 情報 > 認証

1　タッチディスプレイ上の一般設定をタップします。
2　一般設定のメニューが表示されます。
3　情報アイコンをタップして選びます。
4　認証アイコンをタップします。

右にスワイプまたは、メニューボタンを押すとメインメニューに戻ります。

一般設定メニュー

情報メニュー



E ラベル認証

地域の認証により、カメラ下の刻印されたものに加えて、E ラベルの情報があります。

このラベルは、メインメニュー > 一般設定 > 情報 > 認証をタップして表示されます。

HASSELBLAD
XID
HASSELBLAD

5.1 XCDレンズシリーズ

XCD 30 MM レンズ

オートフォーカスとマニュアルフォーカスが使用可能な焦点距離 30mm の単焦点レンズです。

ハッセルブラッド XCD 30 レンズ, 30 mm

XCD 45 MM レンズ

オートフォーカスとマニュアルフォーカスが使用可能な焦点距離 45mm の単焦点レンズです。

ハッセルブラッド XCD 45 レンズ, 45 mm

XCD 90 MM レンズ

オートフォーカスとマニュアルフォーカスが使用可能な焦点距離 90mm の単焦点レンズです。

ハッセルブラッド XCD 90 レンズ, 90 mm

XH レンズアダプター

(3025000)
XH レンズアダプターは HC および HCD レンズを X1D カメラに装着するために使用します。

XH レンズアダプターは、X1D のレンズ選択を HC および HCD レンズ計 12 本の H システムレンズ、またマクロコンバーターと 3 本のエクステンションチューブへと広げます。

HC および HCD レンズのシリーズには 24mm の広角レンズから 300mm の望遠レンズ、また f2.2 の 100mm レンズで浅い被写界深度と美しくスムーズなボケを提供します。

注意！
現在 X1D カメラは XH レンズアダプターを使用したマニュアルフォーカスのみをサポートしています。オートフォーカスのサポートはのちのファームウェアで更新される予定です。

5.2　HC レンズアクセサリーのオプション

エクステンションチューブ H 13、H 26、H 52

(3053513、3053526、3053542)
エクステンションチューブは、HC レンズと XCD HC レンズアダプターの中間に取り付けて最短撮影距離を短くし、クローズアップ撮影に使用します。厚みの違いにより 13mm、26mm、および 52mm の 3 種類が用意されています。X1D カメラの TTL 測光方式により AE 露出補正がそのまま使えます。

マクロコンバーター H

(3023720)
マクロコンバーター H は、XH レンズアダプターと HC レンズに装着するよう設計され、広角 H システムレンズの近距離性能を向上させます。主として HC 50mm-II レンズと共に使用すると、最適な性能が発揮されます。生成されるレンジは、6.6mm のエクステンションチューブを使用したときと類似していますが、性能は著しく向上しています。

コンバーター H 1.7X

(3023717)
コンバーター H 1,7X は、XH レンズアダプターと HC レンズのあいだに装着して使用します。レンズの焦点距離を 1.7 倍に延長させることができます。H システムレンズと同等の優れた光学的品質および機械的品質を誇っています。

5.3 アクセサリーオプション

プロシェード V/H 60 – 95

(3040740)
蛇腹レンズフードです。コンパクトでフラットなフォールディングデザインであるため。収納ケースのスペースが節約されます。アダプターを使うと、すべての H 用レンズとほとんどすべてての V システムレンズに装着できます。ガラス、ゼラチン、プラスティックの各フィルター用のホルダーも備えています。

プロシェードアダプター

(3043415、3043417、3043419)
バヨネット式の XCD レンズ用 67mm、77mm、95mm 用アダプターです。確実に装着されるロック機能を備えています。

X1D XCD レンズのフィルター径

XCD 30mm	77 mm
XCD 45mm	67 mm
XCD 90mm	67 mm

UV スカイフィルター

(3053470、3053474、3053478)
紫外線を吸収し、色再現に影響を与えずにブルーヘイズを減少させる事ができます。また、レンズ前玉保護の役割を果たします。厳しい条件での屋外撮影には特におすすめです。各種レンズに合わせて、UV-sky 67mm (3053470)、UV-sky 77mm (3053474)、UV-sky 95mm (3053478) の 3 サイズが用意されています。

ポラフィルター

(3053482、3053486、3053490)
非鏡面反射とグレアを抑え、彩度を上げて鮮やかに撮影します。これを使用すると、青い空を強調する事が出来ます。3 サイズが用意されています。

X1D カメラショルダーストラップ

(3054754)
滑り止めが後ろについた幅広のカメラストラップは標準アクセサリーです。

HASSELBLAD
AF MF
ISO WB
X1D
HANDMADE
IN SWEDEN

こんなとき	考えられる原因	対処方法
カメラの無効化	カメラは放電による影響を受けることがあります。グリップコントロール・ボタンの周辺がアース接続されたコードに偶然触れた場合起こるかもしれません。この時カメラを無効化いたします。これにより損傷を引き起こすことはありません。	バッテリーの抜き差しを行います。そしてカメラを作動させるためにグリップのON-OFFボタンを押してください。
間違った言語設定	理解できない言語にセットされている場合、イラストに従って好みの言語へ設定変更することができます。	カメラの言語を変更するには言語変更セクションを参照してください。
撮影画像の中に黒または有色のスポット、ラインが発生	センサーの表面のIRフィルターに汚れやホコリが付着しています。	131ページの6.4センサーフィルターの清掃を参照ください。
温度警告アイコンが表示	急激な撮影はセンサーユニット内で大きなプロセッサーを必要とし次々と熱を発生します。これは高い周囲温度と結合して撮影イメージのノイズとなる場合があります。警告ダイアログを通知する事でセンサーユニットを冷却するために一時的に停止します。	少なくとも20分間センサーユニットを冷却してください。

6.1 エラーメッセージ

ご注意ください
カメラからレンズ等のコンポーネント着脱の際は十分注意してください。これはデータバスの損傷を未然に防ぎます。

エラーメッセージが表示される場合

1 カメラからコンポーネントを取りはずしてください。
2 再びカメラに取りつけてください。

まだエラーメッセージが表示される場合

1 バッテリーをはずしてください。
2 10秒放置してください。
3 再びバッテリーを取りつけてください。
カメラプロセッサーがリセットされます。

まだエラーメッセージが表示される場合

1 エラーメッセージを書き留めてください。
2 お買い上げの販売店、またはハッセルブラッド・ジャパン サービスセンターへご相談ください。

6.2 不明な言語からの変更

メインメニュー>一般設定>言語

1 ディスプレイの一般設定アイコンをタップします。
2 一般設定メニューが表示されます。
3 地球アイコンのメニュー項目に移動します。(上から8番目のリスト、言語)
4 下へスクロールダウンして言語を選択してください。

右にスワイプするかメニュー/戻るボタンを押してメインメニューに戻ります。

一般設定メニュー

言語メニュー

6.3 レンズのクリーニング

ホコリの除去

ご注意ください
レンズ表面を指で触らないでください。レンズ損傷の原因となります。

レンズ表面にホコリがある場合、次のようにしてください。

1 ブロアーでほこりを取り除きます。
2 除去できない場合、柔らかいレンズブラシでホコリを除去してください。

6.4　センサーフィルターの清掃

注意！
カメラからレンズなどのコンポーネント着脱の際は十分注意してください。これはデータバスの損傷を未然に防ぎます。

注意！
センサーユニットを取りはずすときは、カメラ開口部から全ての異物を遠ざけてください。カメラ開口部は非常に繊細です。こうする事で製品への損傷を未然に防ぎます。

レンズをはずしてセンサーを清掃する
1　USB ケーブルが繋がれている場合、取りはずします
2　レンズの取りはずしボタンを押します。
3　レンズの取りはずしボタンを押したまま、レンズを時計方向に回転させます。
4　レンズを取りはずします。
5　十分注意してブロアーで IR フィルターの外側表面を清掃してください。

注意！
IR フィルターガラスを清掃するためにブロアーを使用している場合は、使用前慎重に行ってください。これは、フィルターへの損傷を未然に防ぎます。

ブロアーを使用して除去できなかった場合はお買い上げの販売店または、ハッセルブラッド・ジャパン サービスセンターへご相談ください。

6.5 ハッセルブラッド X1D ユーザーガイドについての情報

ユーザーガイドの情報は X1D カメラを使用するためにのみご利用いただくものです。情報および 3D 製品画像や写真は予告なく変更する場合がございます。

3D 製品画像

このユーザーガイドの X1D 製品画像はハッセルブラッド X1D で撮影されたものではなく、3D で描かれたものです。これらはイラスト使用のみを意図しており、ハッセルブラッド X1D の画質を代表するものではありません。

トレードマーク

Hasselblad、Phocus、Phocus Mobile は Victor Hasselblad AB の商標です。

Adobe、Adobe Photoshop はアドビシステムズ社の商標です。Macintosh、Mac OS、iPhone®、iPad®、iPod Touch® は Apple の商標です。

InfoLithium はソニーの商標です。Canon, Nikon, Leica, Sony, Fuji and Olympus はそれぞれの会社の商標です。 Qp カードは Qp Card AB の商標です。E-Wipe は Photosol の商標です。

COPYRIGHT

ユーザーガイドのすべてのテキストの Copyright© は Victor Hasselblad AB が有します。

ユーザーガイドの特定のフォトグラファーのクレジットがないすべての画像の Copyright© は Victor Hasselblad AB が有します。ユーザーガイドのテキストまたはテキストの一部は Victor Hasselblad AB の許可を表示することなく再版または再使用することができません。

ユーザーガイドの画像は Copyright を所有しているフォトグラファーの許可なく再版または再使用することはできません。

Victor Hasselblad AB は、このユーザーガイドに記載されている誤りまたは不正確さについて、一切責任を負いません。

Victor Hasselblad AB は、ハッセルブラッドのソフトウェアまたは製品を使用している間、またはその結果として発生した損失または損害に対して、一切責任を負いません。

Copyright © 2017 Victor Hasselblad AB. All rights reserved.